



JFEグループ インベスターズ・ミーティング

2015年1月30日
JFEホールディングス

- JFEグループ^o2014年度第3四半期決算
及び 2014年度業績見通し
 - ・JFEスチール
 - ・JFEエンジニアリング
 - ・JFE商事
 - ・JFEホールディングス

- 期末配当について

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

JFEグループ

2014年度 第3四半期決算

2014年度第3四半期決算

(億円)

	2013年度 第3四半期累計	2014年度 第3四半期累計	増減
売上高	26,430	28,193	1,763
営業利益	967	1,464	497
営業外損益	279	225	▲54
経常利益	1,247	1,689	442
特別損益	▲36	▲37	▲1
税前利益	1,210	1,652	442
税・少持	▲449	▲588	▲139
当期利益	760	1,063	303

2014年度第3四半期決算

セグメント別売上高/経常利益

(億円)

	2013年度 第3四半期累計	2014年度 第3四半期累計	増減
鉄鋼事業	19,639	21,499	1,860
エンジニアリング事業	1,733	2,364	631
商社事業	13,064	14,399	1,335
調整額	▲ 8,007	▲ 10,070	▲ 2,063
売上高	26,430	28,193	1,763
鉄鋼事業	935	1,476	541
エンジニアリング事業	59	49	▲ 10
商社事業	158	178	20
調整額	93	▲ 14	▲ 107
経常利益	1,247	1,689	442

JFEグループ

2014年度 連結業績見通し

2014年度業績見通し

対 前回(10/28)公表値

(億円)

	2014年度見通し (10/28)	2014年度見通し(今回)			増減
	年間	4-12月	1-3月	年間	年間
売上高	39,000	28,193	10,208	38,400	▲ 600
営業利益	2,000	1,464	636	2,100	100
営業外損益	0	225	▲ 124	100	100
経常利益	2,000	1,689	512	2,200	200
特別損益	▲ 100	▲ 37	▲ 12	▲ 50	50
税前利益	1,900	1,652	499	2,150	250
税・少持	▲ 700	▲ 588	▲ 263	▲ 850	▲ 150
当期利益	1,200	1,063	237	1,300	100
ROS	5.1%	6.0%	5.0%	5.7%	0.6%

2014年度業績見通し

セグメント別売上高/経常利益

対 前回(10/28)公表値

(億円)

	2014年度見通し(10/28) 年間	2014年度見通し(今回)			増減 年間
		4-12月	1-3月	年間	
鉄鋼事業	29,100	21,499	7,401	28,900	▲200
エンジニアリング事業	3,600	2,364	1,237	3,600	0
商社事業	20,100	14,399	5,201	19,600	▲500
調整額	▲13,800	▲10,070	▲3,630	▲13,700	100
売上高	39,000	28,193	10,208	38,400	▲600
鉄鋼事業	1,600	1,476	274	1,750	150
エンジニアリング事業	160	49	132	180	20
商社事業	240	178	62	240	0
調整額	0	▲14	45	30	30
経常利益	2,000	1,689	512	2,200	200



2014年度業績見通し

対前年度

(億円)

	2013年度 実績	2014年度見通し(今回)			増減 年間
	年間	4-12月	1-3月	年間	
売上高	36,668	28,193	10,208	38,400	1,732
営業利益	1,533	1,464	636	2,100	567
営業外損益	203	225	▲124	100	▲103
経常利益	1,736	1,689	512	2,200	464
特別損益	▲131	▲37	▲12	▲50	81
税前利益	1,605	1,652	499	2,150	545
税・少持	▲581	▲588	▲263	▲850	▲269
当期利益	1,023	1,063	237	1,300	277
ROS	4.7%	6.0%	5.0%	5.7%	1.0% ₉

2014年度業績見通し

セグメント別売上高/経常利益
対前年度
(億円)

	2013年度 実績 年間	2014年度見通し(今回)			増減 年間
		4-12月	1-3月	年間	
鉄鋼事業	26,916	21,499	7,401	28,900	1,984
エンジニアリング事業	2,841	2,364	1,237	3,600	759
商社事業	17,813	14,399	5,201	19,600	1,787
調整額	▲ 10,902	▲ 10,070	▲ 3,630	▲ 13,700	▲ 2,798
売上高	36,668	28,193	10,207	38,400	1,732
鉄鋼事業	1,262	1,476	274	1,750	488
エンジニアリング事業	184	49	132	180	▲ 4
商社事業	215	178	62	240	25
調整額	73	▲ 14	45	30	▲ 43
経常利益	1,736	1,689	512	2,200	464



2014年度業績見通し

JFEホールディングス

セグメント別売上高/経常利益

対前年度

(億円)

	2013年度実績			2014年度見通し(今回)			増減 年間
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	
鉄鋼事業	12,949	13,967	26,916	14,241	14,659	28,900	1,984
エンジニアリング事業	1,072	1,769	2,841	1,446	2,154	3,600	759
商社事業	8,558	9,255	17,813	9,462	10,138	19,600	1,787
調整額	▲5,297	▲5,605	▲10,902	▲6,670	▲7,030	▲13,700	▲2,798
売上高	17,283	19,385	36,668	18,480	19,920	38,400	1,732
鉄鋼事業	559	703	1,262	776	974	1,750	488
エンジニアリング事業	21	163	184	6	174	180	▲4
商社事業	104	111	215	114	126	240	25
調整額	59	14	73	22	8	30	▲43
経常利益	743	993	1,736	919	1,281	2,200	464



JFEスチール

2014年度 第3四半期決算

■ 単独粗鋼/出荷

単位: 万t

	2013年度				2014年度	対前年度 同四半期 B-A
	4-12月 A	4-6月	7-9月	10-12月	4-12月 B	
粗鋼生産	2,144	714	735	694	2,144	+0
鋼材出荷	1,890	641	662	653	1,956	+66

■ 連結粗鋼

粗鋼生産	2,367	787	801	761	2,349	-18
------	-------	-----	-----	-----	-------	-----

2014年度 第3四半期決算

単位: 億円

JFEスチール	2013年度				2014年度		対前年度 同四半期 B-A
	4-12月 A	4-6月	7-9月	10-12月	4-12月 B		
売上高	19,639	7,035	7,206	7,258	21,499	+1,860	
経常利益	935	307	468	700	1,476	+541	
ROS	4.8%	4.4%	6.5%	9.6%	6.9%	2.1%	

2013年度4-12月 ⇒ 2014年度4-12月 連結経常利益 +541億円内訳

- 数量・販価・原料 + 940
- コスト削減 + 300
- 棚卸資産評価差等 500
- 為替影響 + 60
- その他物価up等 259

合計 + 541

単位：億円

JFEスチール	7-9月	上期	10-12月	下期	2014年度	差異 7-9月 →10-12月
経常利益	468	776	700	974	1,750	+232

- 数量・販価・原料 ± 0
- コスト削減 + 30
- 棚卸資産評価差等 ± 0
- 為替影響 + 80
- その他 + 122

合計 + 232

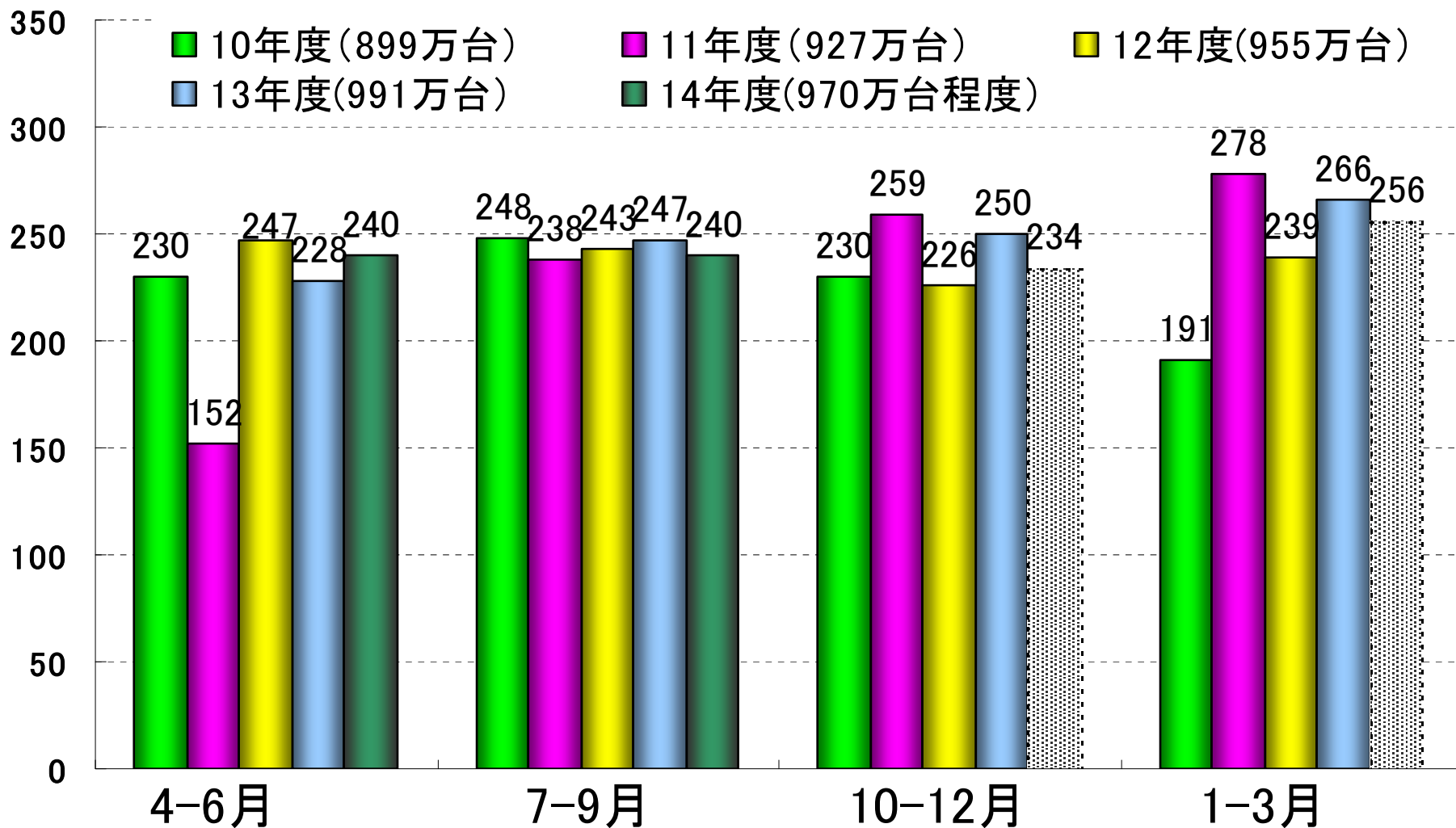


JFEスチール

2014年度 業績見通し

国内販売環境

自動車生産台数

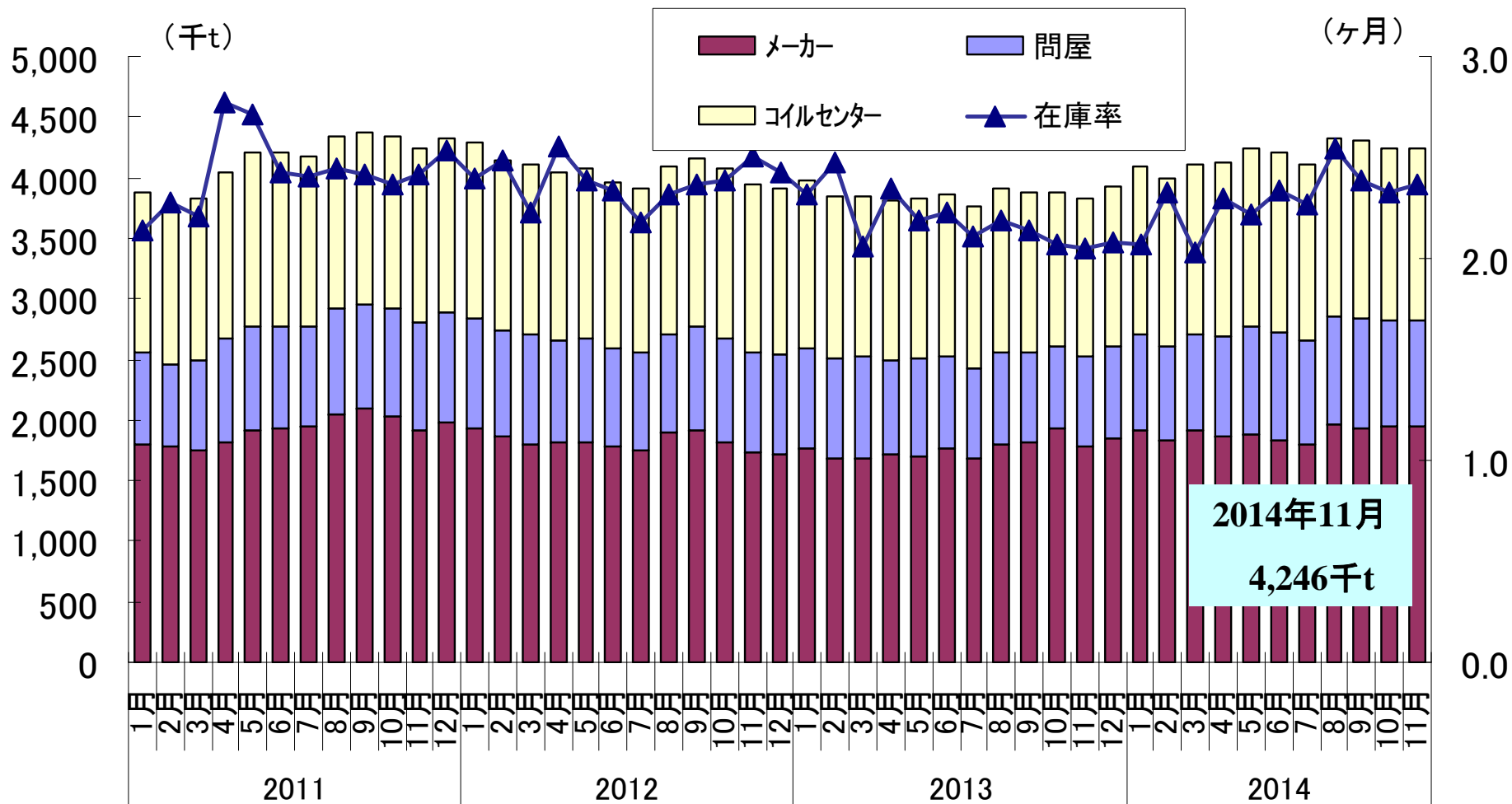


当社予測

国内販売環境

薄板 3 品在庫

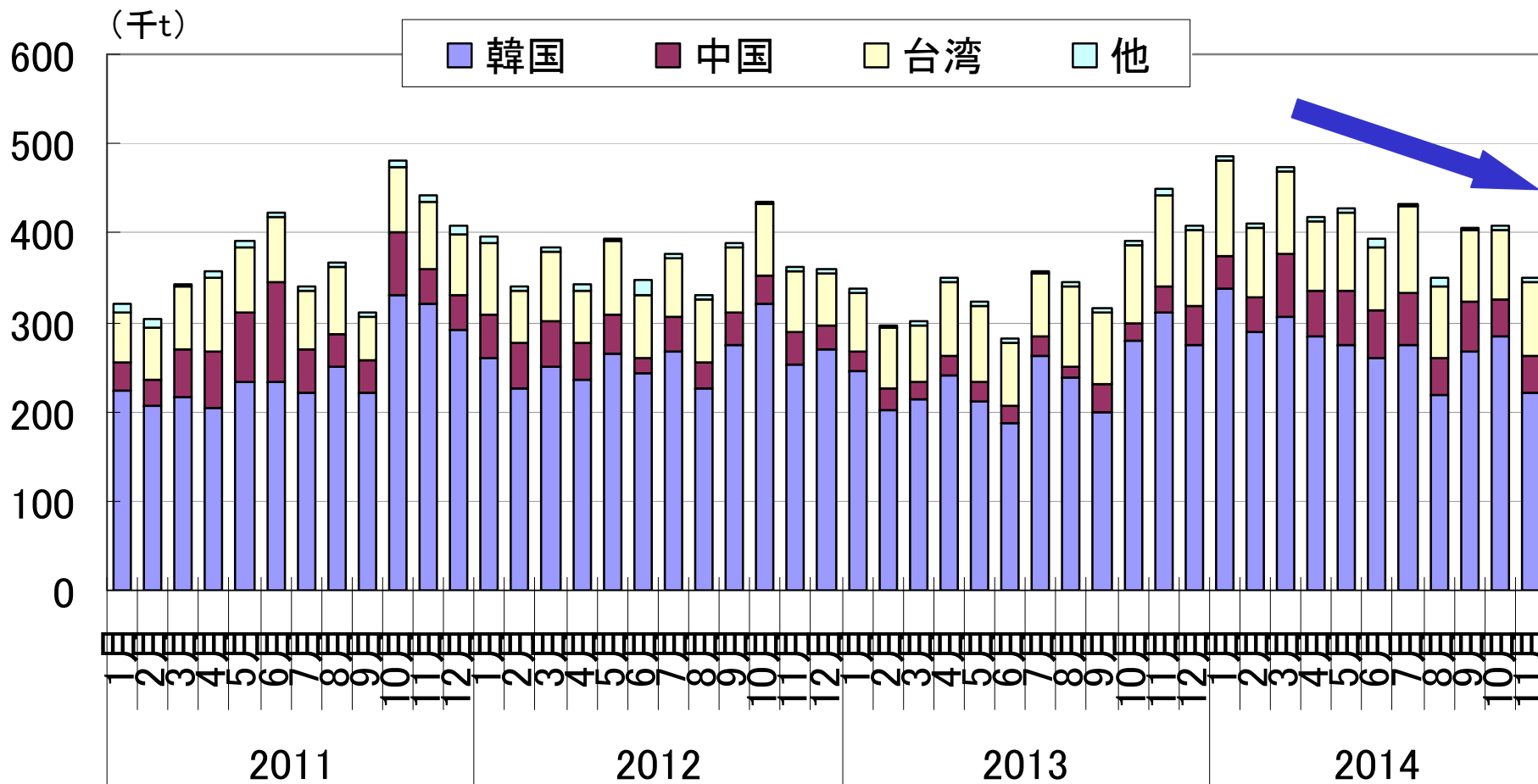
在庫水準は引き続き400万トンを超えて推移しているが、在庫率には大きな変化無く、荷余り感はそれほど大きくない状況。今後の動向には注視が必要。



国内販売環境

輸入鋼材(普通鋼/国別)

大部分を占める韓国からの輸入量は14年1月をピークに緩やかな減少傾向にあり。



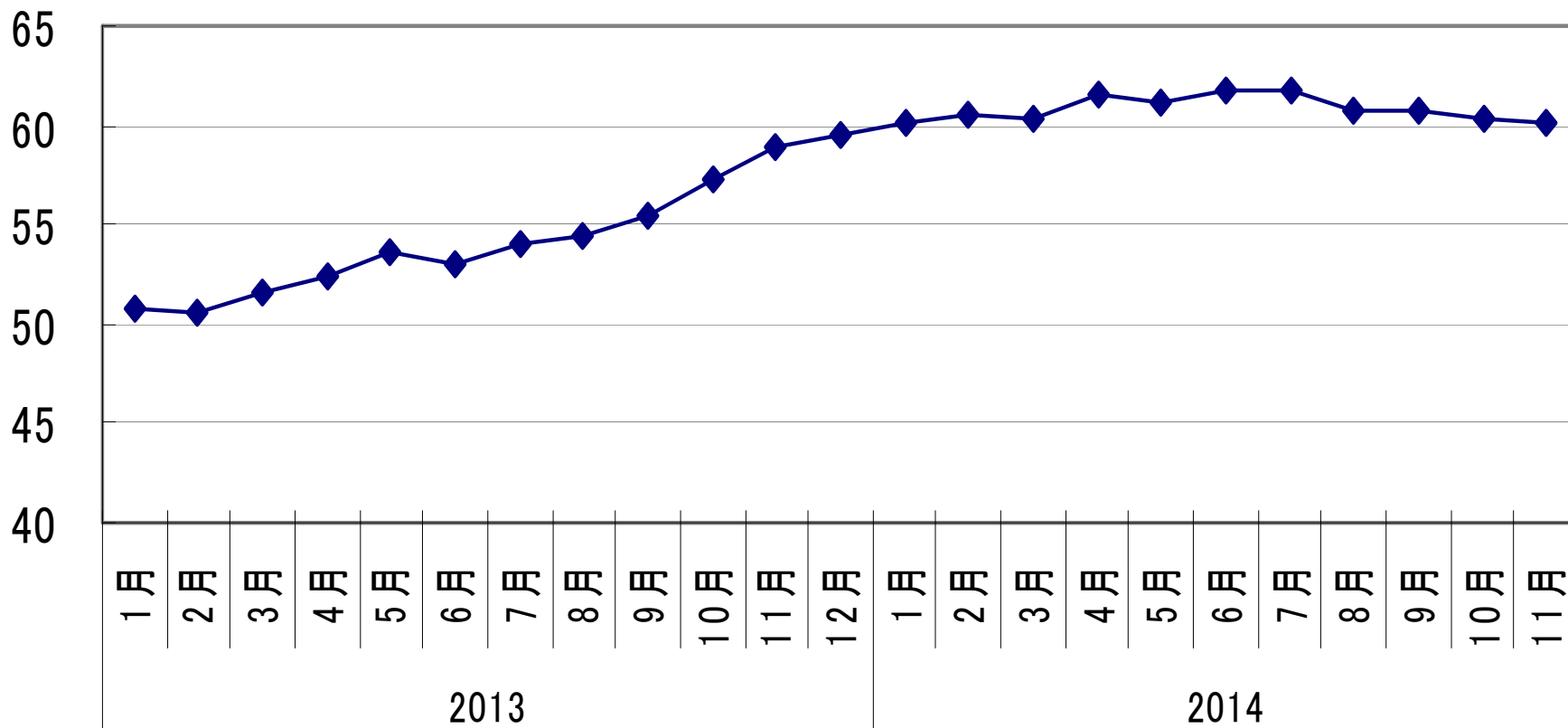
国内販売環境

輸入鋼材(価格)

昨年初以来、約1万円/t上昇。

(千円/t)

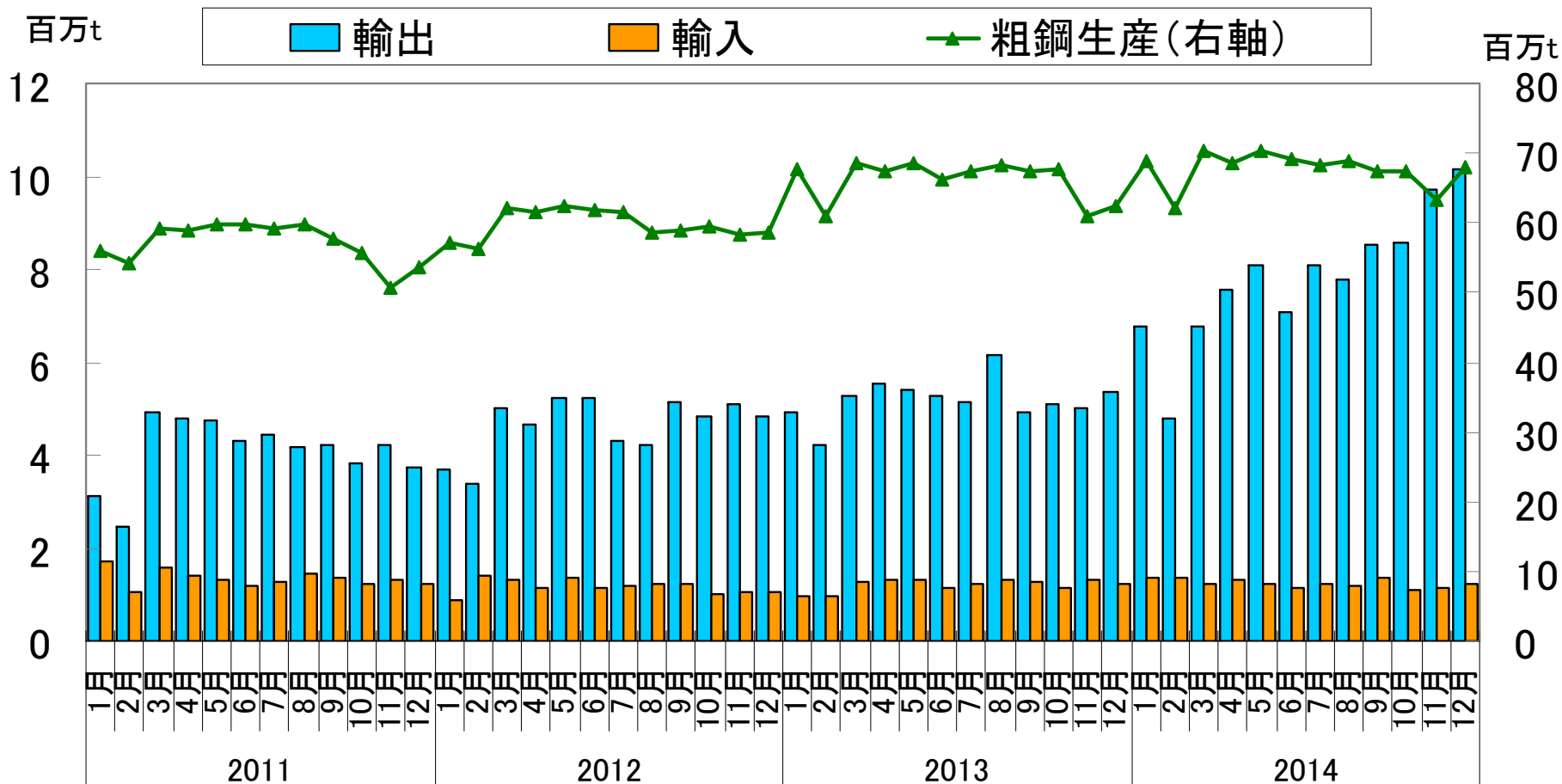
韓国からのHRC輸入価格



輸出販売環境

中国粗鋼生産・輸出入

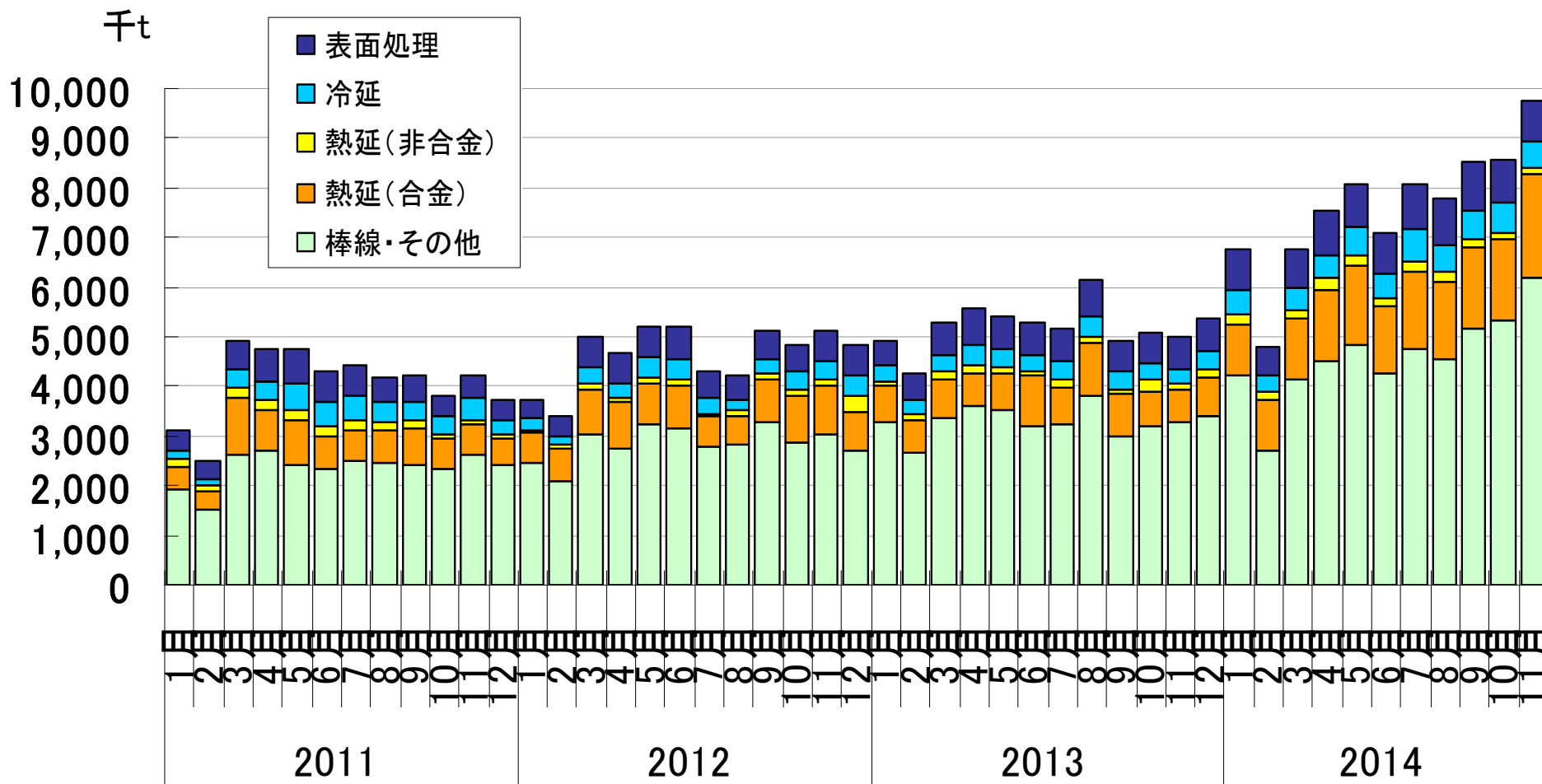
12月の粗鋼生産はAPEC終了後の増産影響もあり3ヶ月ぶり前年比増。
 日当たり粗鋼生産量は6月の231万tをピークに減少傾向。(10月218万t、11月211万t、12月220万t)



輸出販売環境

中国輸出（品種別）

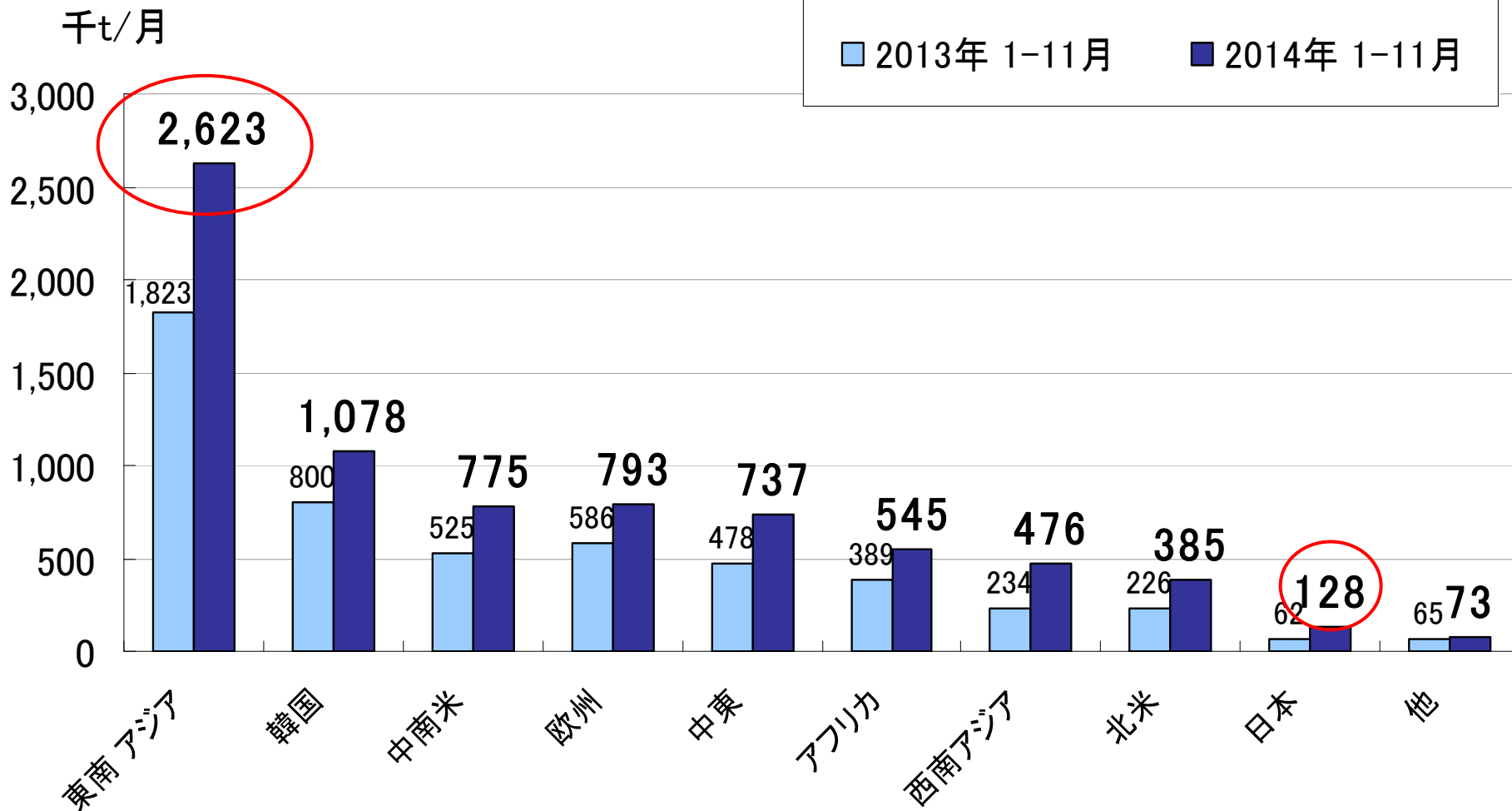
11月は合金熱延、棒線その他が大幅に増加。全体で1000万トンに迫る勢い。
 税制改正による駆け込みの増加も含まれると推定されるが、今後の動向に注視が必要。



輸出販売環境

中国からの輸出

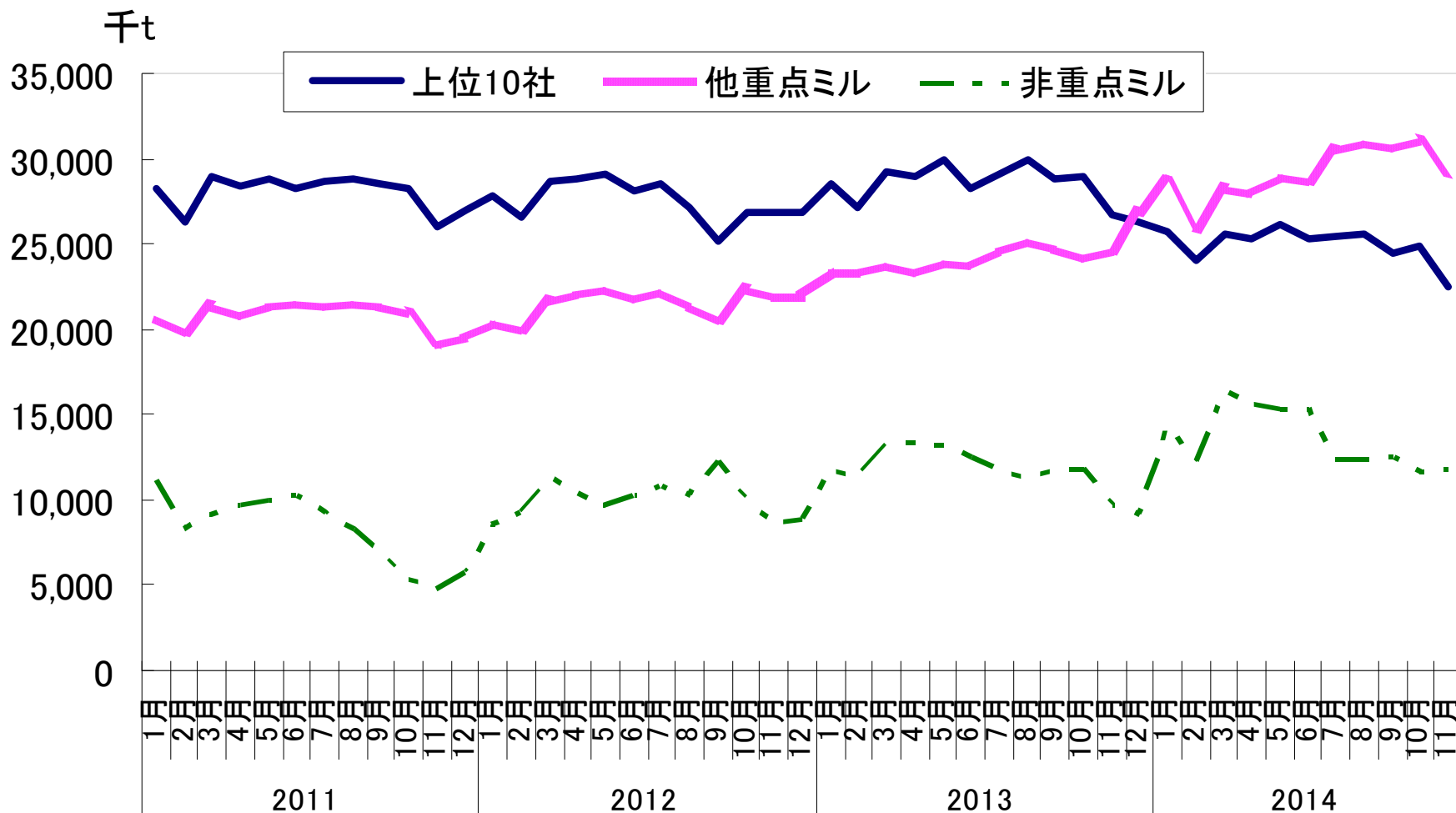
輸出先別は、東南アジア向けを中心に増加。
 近隣諸国への輸出増大に加え、遠隔地への拡大も進んでいる状況。
 日本への輸出は全体の約2%。



輸出販売環境

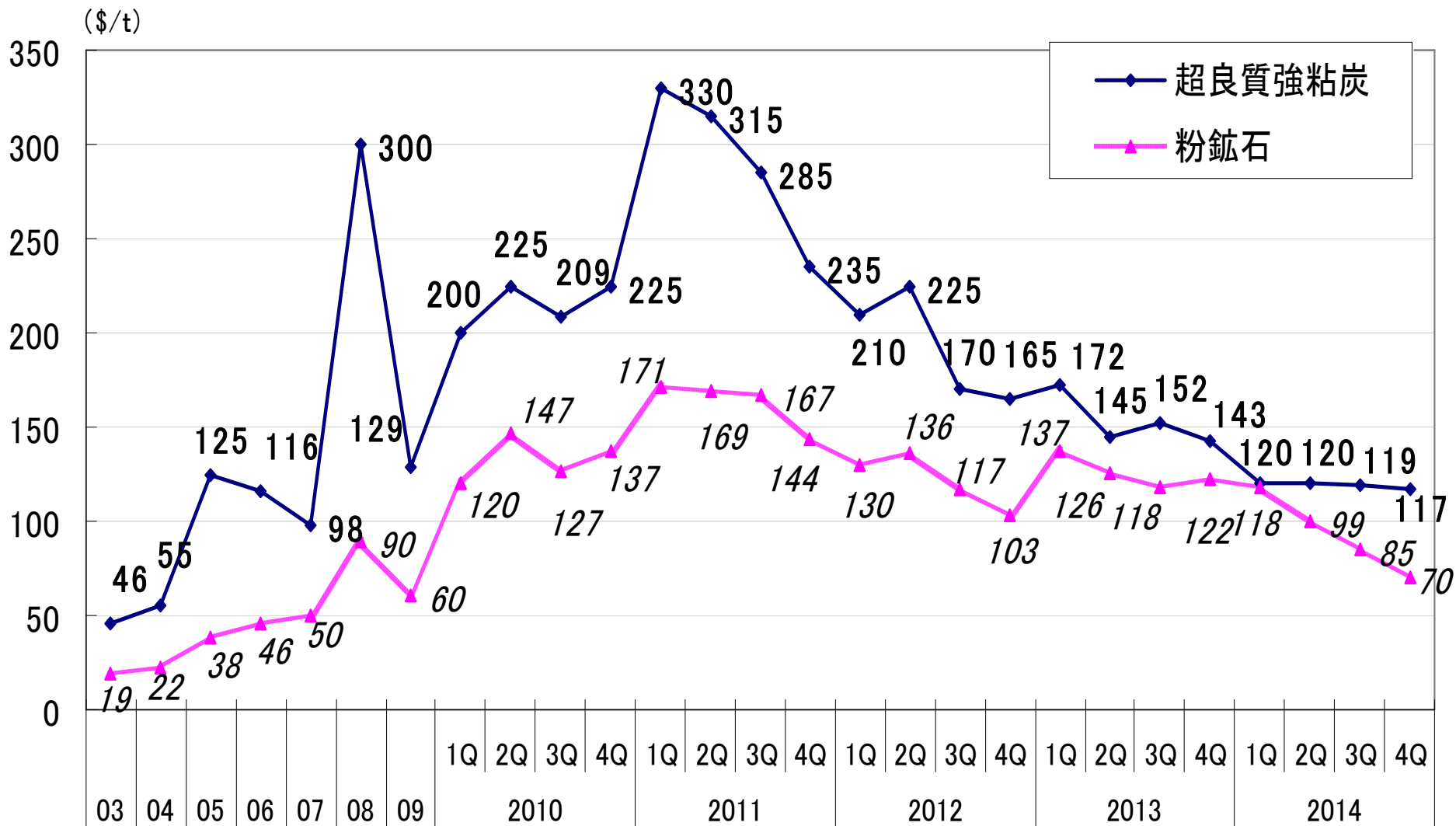
中国ミル別粗鋼生産

14年に入り、上位10社は横ばい。他重点ミルは増加傾向。非重点ミルは減少基調であるが今後の動向は予断を許さない状況。



原料

主原料価格



■ 単独粗鋼/出荷

単位: 万t

	2013 年度	上期	下期		2014 年度	
			10-12月	1-3月		
			(実績)	(見通し)		
	(実績)	(実績)	(実績)	(見通し)	(見通し)	
粗鋼生産	2,867	1,450	694	年度見込み 2,860程度		
鋼材出荷	2,552	1,304	653	年度見込み 2,610程度		
平均単価(千円/t)	75.7	76.7	77.9	77	77	77
為替 (円/\$)	99.8	102.5	112.3	117	115	109
期末為替(円/\$)	102.9	109.5	120.6	115	115	115

■ 連結粗鋼

粗鋼生産	3,158	1,588	761	年度見込み 3,130程度	
------	-------	-------	-----	---------------	--

単位：億円

JFEスチール	2013年度	2014年度	2014年度		
	実績 A	前回(10/28) B	上期	下期	今回 C
売上高	26,916	29,100	14,241	14,659	28,900
経常利益	1,262	1,600	776	974	1,750
ROS	4.7%	5.5%	5.4%	6.6%	6.1%

年度差異 2013 →2014 C-A	年度差異 前回 →今回 C-B
+1,984	▲200
+488	+150
1.4%	0.6%

2013年度⇒2014年度 連結経常利益 +488億円内訳

単位: 億円

JFEスチール	2013年度 実績 A	2014年度 前回(10/28) B			2014年度 今回 C	年度差異 2013 →2014 C-A	年度差異 前回 →今回 C-B
			上期	下期			
経常利益	1,262	1,600	776	974	1,750	+488	+150

- 数量・販価・原料 + 1,100 ⇒ 主原料価格ダウン等
- コスト削減 + 400 ⇒ 基盤整備含む
- 棚卸資産評価差等 650
- 為替影響 ± 0
- その他物価up等 300 ⇒ エネルギー価格、販直・外注費等
- 廃却他 62

合計 + 488

単位: 億円

JFEスチール	上期	下期		2014 年度	差異 10-12月 →1-3月	
		10-12月	1-3月			
		経常利益	776			700

- 数量・販価・原料 + 30
- コスト削減 + 30
- 為替影響 230
- 廃却他 256

合計 426

連結経常利益 +198億円内訳

単位：億円

JFEスチール	上期	下期		2014 年度	差異 上期 →下期
		10-12月	1-3月		
		776	700		

- 数量・販価・原料 + 150
- コスト削減 + 100
- 為替影響 + 30
- 廃却他 82

合計 + 198

JFEエンジニアリング

2014年度 業績見通し

JFEエンジニアリング2014年度業績見通し

対 前回
(億円)

	2014年度見通し (前回10/28)		2014年度見通し (今回)		増減 年間
	下期	年間	下期	年間	
受注高	2,352	4,500	2,352	4,500	0
売上高	2,154	3,600	2,154	3,600	0
経常利益	154	160	174	180	20

【主な増減要因】

経常利益 調達コストダウン、受注増に伴う稼働率向上

JFEエンジニアリング2014年度業績見通し

対前年度

(億円)

	2013年度実績		2014年度見通し		増減	増減
	下期	年間	下期	年間	下期	年間
受注高	1,807	3,670	2,352	4,500	545	830
売上高	1,769	2,841	2,154	3,600	385	759
経常利益	163	184	174	180	11	▲4

【主な増減要因】

受注高 前年度に対し2割強の増加、過去最高を更新

売上高 受注拡大に伴う増加
 (受注高:2012年度 2,698 → 2013年度 3,670 → 2014年度 4,500)

経常利益 売上工事の構成差 等



JFEエンジニアリング 受注内容

(億円)

分野	2013年度 実績	2014年度 見通し	増減	2014年度これまでの主な受注案件
都市環境	1,146	3,400	760	福島 災害廃棄物等 焼却・減容化処理業務 4件(伊達地方、南相馬市2件、葛尾村) 館林衛生施設組合 ごみ焼却施設 ごみ焼却施設基幹改良工事(一宮市 他2件) 豊橋市 複合バイオマス発電PFI事業 スリランカ キャンディ市 下水処理施設 INPEX 南長岡ガス田 プラント増強工事 西部ガス 九州北部幹線パイプライン西側区間 インドネシア カリソゴ・ワル パイプライン
電力創生	719			
エネルギー	774			
鋼構造	587	1,100	70	仙台塩釜港 岸壁工事 ジャケット製作 橋梁(新東名厚木高架橋、 名古屋西JCT高架橋 等) ミャンマー ミニゴン高架橋 インド貨物専用鉄道 鉄道橋 船舶用バラスト水管理システム (149隻分、商品名:バラストエース)
その他	441			
合計	3,670	4,500	830	

独スタンダードケッセル・パワーシステムズHD社の 全株式取得について (14年11月6日公表)

～都市環境プラント事業のグローバル化加速とバイオマス発電プラント事業の強化～

【スタンダードケッセル・パワーシステムズHD社(以下SPSH社)会社概要】

・設立	1925年 ※スタンダードケッセル社設立年
・事業内容	廃棄物発電プラント・バイオマス発電プラント・廃熱回収発電プラントなどの建設、及び これらのボイラー改造やプラント全体のメンテナンス事業
・売上	180億円(1.29億ユーロ、2013年)

<SPSH社の強みと買収の狙い>

○廃棄物発電分野: 世界最大規模のストーカ炉の設計建設技術と実績
(1,000t/D規模の処理能力)

⇒海外で需要の高まっている大型炉建設ニーズを捕捉

○バイオマス発電分野: シンプル構造で完成度の高いストーカ式発電技術

⇒当社の持つ循環流動層ボイラを用いたプラントに加え、幅広い出力レンジのラインナップで需要に対応



エンジニアリング事業 グローバル展開の拠点

ドイツ：スタンダードケッセル・バウムガルテグループ
環境プラント・バイオマス発電プラント等のエンジニアリング
買収：2014年12月

ミャンマー：J&Mソリューションズ社
橋梁など鋼構造物の設計・製作・架設
合弁設立：2013年11月
製品出荷：2014年7月

インド：プネエンジニアリングセンター
環境プラント 廃棄物発電プラント設計
設立：2014年6月

インドネシア：エネルコン
エネルギー分野のコンサル・設計
買収：2014年6月

M&A、合弁会社設立により、各国にEPC(設計・調達・建設)実施体制の現地化を推進。⇒今後海外受注高を大幅に引き上げてゆく。



JFE商事
2014年度 業績見通し

JFE商事 2014年度業績見通し

対前年度

(億円)

	2013年度実績		2014年度見通し		増減 年間
	下期	年間	下期	年間	
売上高	9,255	17,813	10,138	19,600	1,787
経常利益	111	215	126	240	25

【主な増減要因】

- <国内>
- ・ 製造業向け数量増(造船向け等)
 - ・ グループ会社収益増(建材・鋼管販社等)

- <海外>
- ・ 鋼材の取引拡大
 - ・ 海外現地法人(米国等)の収益増

JFE商事 セグメント別売上

単位：億円		2013年度実績		2014年度見通し		増減	
国内		9,431		10,048		617	
海外	輸出	4,508	6,522	4,889	7,721	381	1,199
	海外事業	2,014		2,832		818	
その他(原材料・資機材・調整額他)		1,860		1,831		▲29	
合計		17,813		19,600		1,787	

【主な増減要因】

- <国内> ・各製造業向け数量増
 ・グループ会社(建材・鋼管販社等)で、前期比10%程度の増収見込み
- <海外> ・鉄鋼貿易：鋼材取引拡大
 ・海外事業：米国J商グループは好調を維持、前期比4割程度の増収を見込む

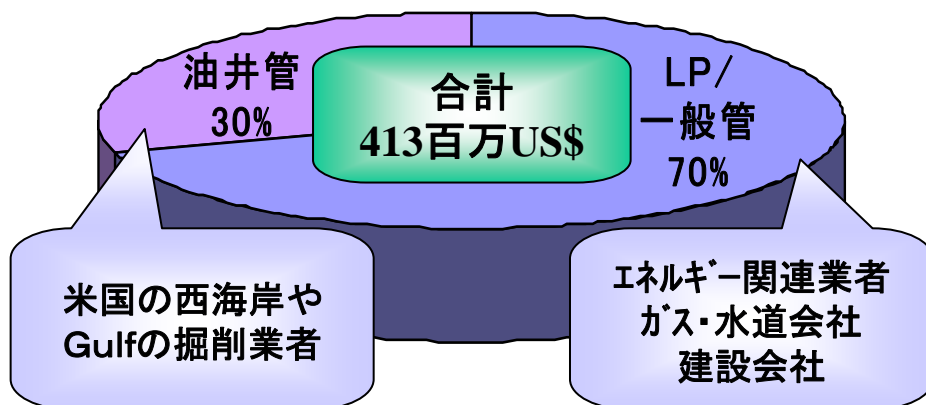


米国鋼管問屋Kelly Pipe Co., LLCの買収

【Kelly Pipeの概要】

- ◆ 1898年創業、100年以上の歴史と全米を網羅する販売ネットワークを有する米国内大手鋼管問屋

2013年売上高



【Kelly Pipe買収の目的】

- 今後も成長が期待される北米市場における鋼管流通分野への本格参入
- JFEグループ材(例:CSI)を含めた国内外ミルからの調達シタジの追求
- 全米を網羅する販売網、ラインパイプ・一般管・油井管とバランスの取れたプロダクトミックスからの安定収益確保

事業内容	ラインパイプ、一般管、油井管等の販売
従業員数	295名
販売拠点	24箇所(米国 21箇所、カナダ・英国・コロンビア 各1箇所)

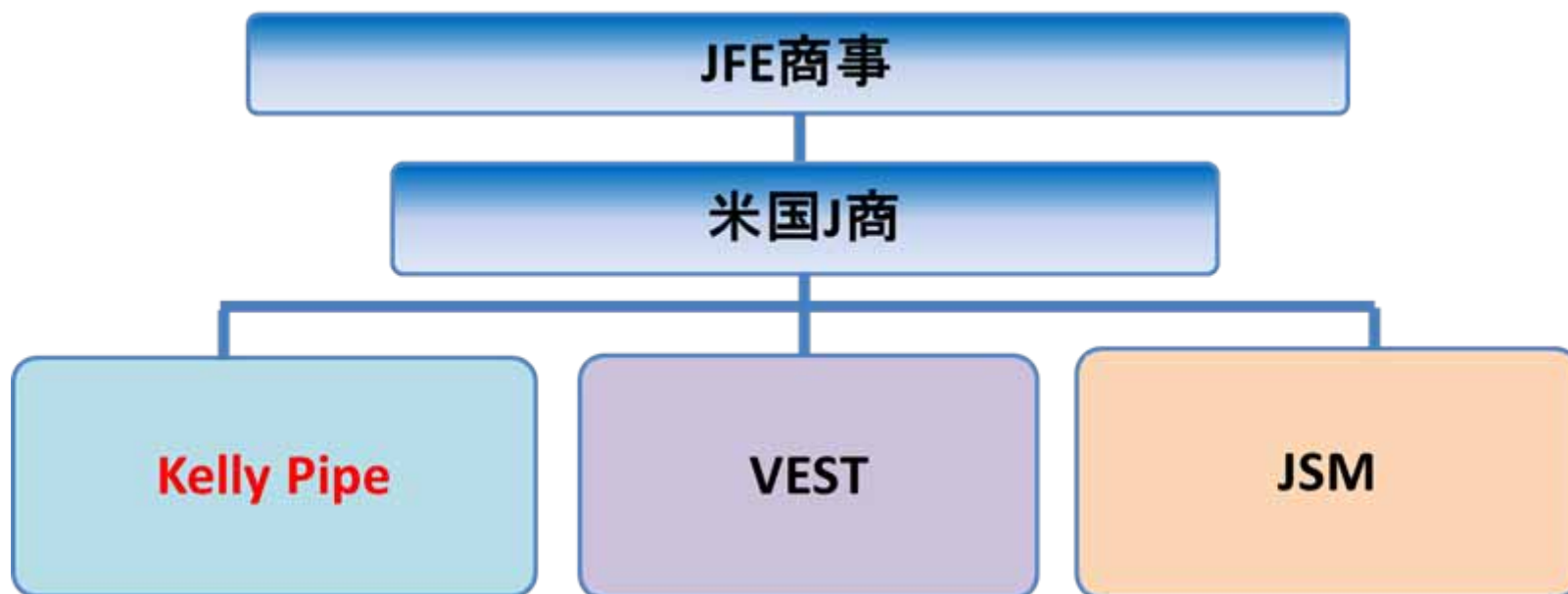


(参考)新米国J商グループの体制

■ 新米国J商グループの体制

- ・VEST : 建材用鋼管製造・販売
- ・JSM : 1次加工に加えモーターコア等2次加工も手掛ける鋼材加工センター
↓ 上記2社に
- ・Kelly Pipe : 鋼管流通問屋 が加入

■ JFEグループ製品を含め、多様な鋼材販売・加工・流通が可能な体制を目指す



(参考) JFE商事の北米事業取り組み

■ 各社において下記のような取組みを展開することでJFEブランド5000へ貢献

米国J商のトレーディング

JFEグループ材の積極的販売＋三国材の扱い

- ◆ California Steel Industries (CSI) 製品の北米内現地顧客への販売
- ◆ インド材・台湾材を活用した北米ビジネス
- ◆ エネルギー関連向け鋼管の販売
- ◆ メキシコシティ支店設立による自動車関連向けを中心とした鋼材需要の取込み

VEST社の新規投資と拡販体制整備

建築物に加え太陽光発電用架台等幅広く建設向け需要（角コラム等）を取込

- ◆ 2012年末～2013年12月 切断工程の改造工事により歩留り向上
- ◆ 米国西海岸北部に営業拠点を配置し、販売エリアを大きく拡大

メキシコ鋼材加工センターJSM設備増強

2次・3次加工を充実し、車載用モーターコア等の伸長する需要を捕捉

- ◆ 2013年9月 大型斜角設備の導入
⇒米国における変圧器需要の取り込み
- ◆ 2014年5月 r. bourgeois社と合併会社設立
⇒駆動モーター用コアの需要を捕捉

Kelly Pipe が新たに加わることでさらなるシナジー効果を発揮し、JFEブランド5000への貢献を加速する



JFEホールディングス

2014年度 連結業績見通し



2014年度業績見通し

対前年度

(億円)

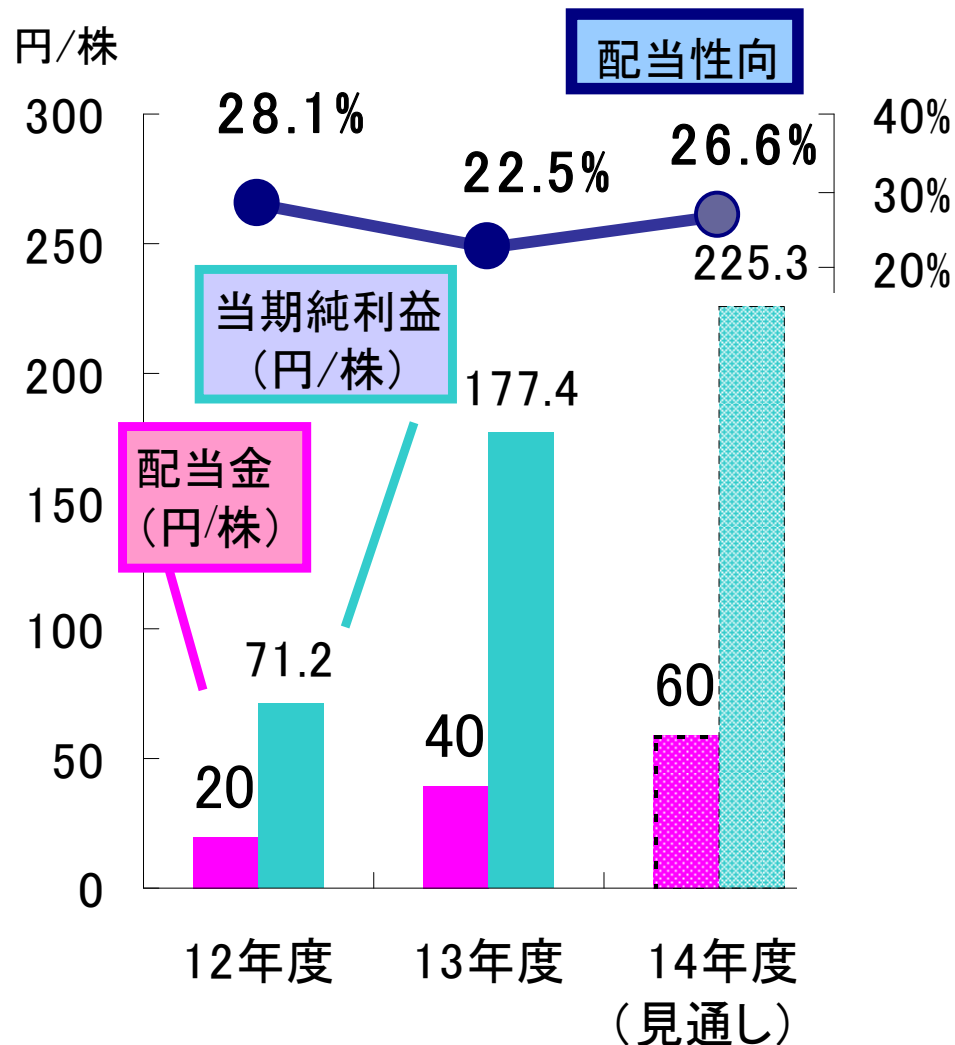
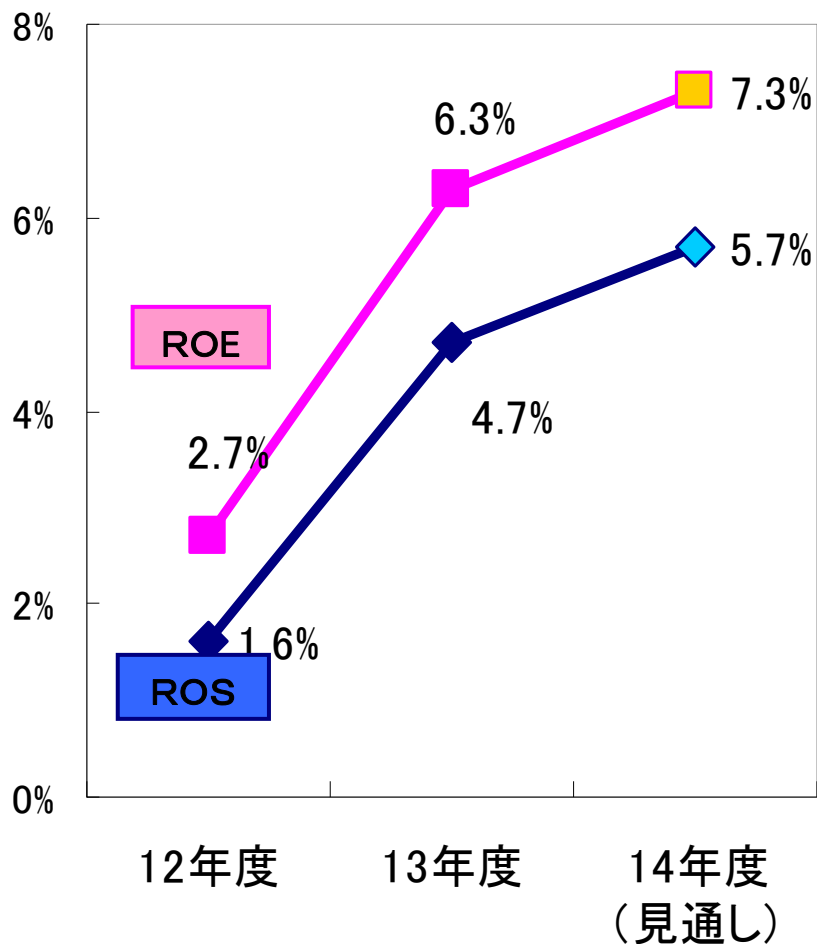
	2013年度 実績	2014年度見通し(今回)			増減 年間
	年間	4-12月	1-3月	年間	
売上高	36,668	28,193	10,208	38,400	1,732
営業利益	1,533	1,464	636	2,100	567
営業外損益	203	225	▲124	100	▲103
経常利益	1,736	1,689	512	2,200	464
特別損益	▲131	▲37	▲12	▲50	81
税前利益	1,605	1,652	499	2,150	545
税・少持	▲581	▲588	▲263	▲850	▲269
当期利益	1,023	1,063	237	1,300	277
ROS	4.7%	6.0%	5.0%	5.7%	1.0% ₄₇

期末配当について

期末配当について(案)

当期の期末配当につきましては、現下の損益状況を踏まえ、1株につき40円(年間60円)とする案を株主総会にお諮りする方針とさせていただきます。

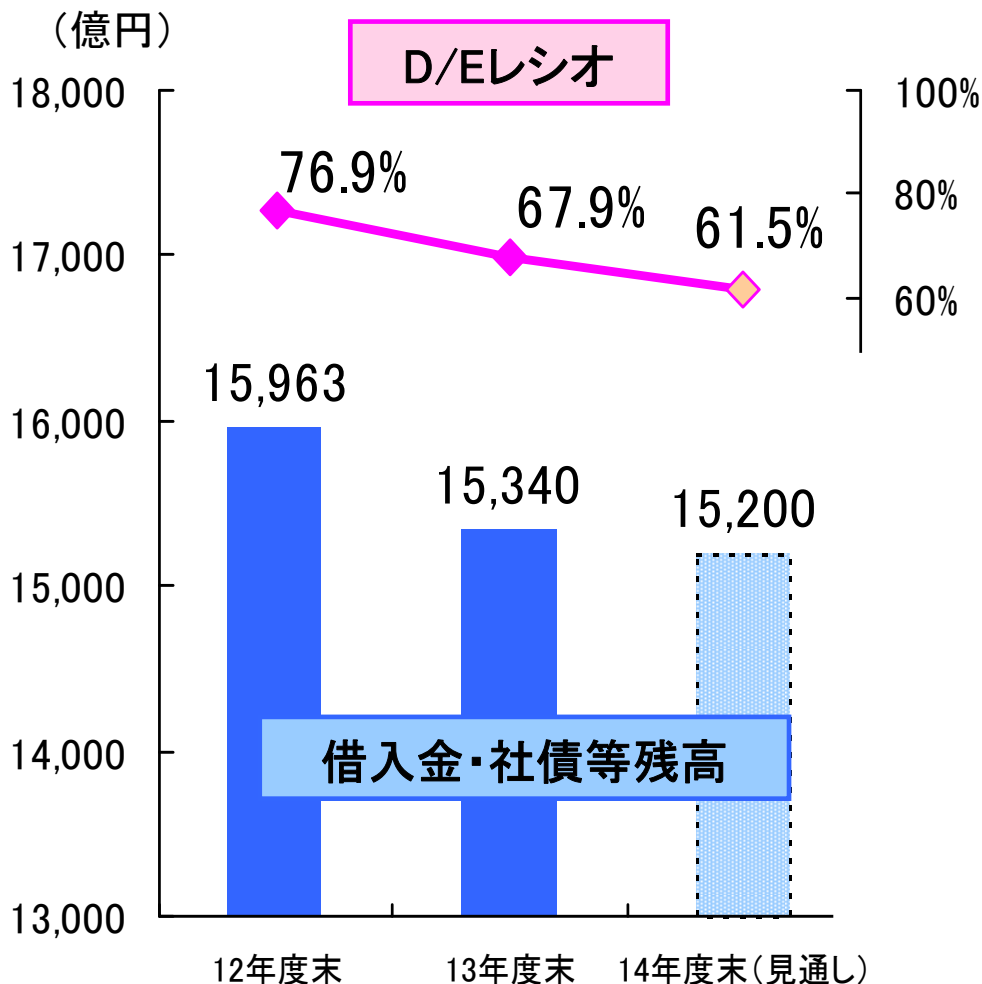
主要指標 (ROS・ROE, 配当)



ROE: 当期純利益/期中平均自己資本

ROS: 経常利益/売上高

主要指標(借入金・社債等残高, D/Eレシオ)



参考: 2014年度キャッシュフロー見通し

原資		用途	
		有利子負債返済	140
経常利益	2,200	運転収支他	1,760
減価償却費	1,800	設備投資	2,100

D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本

但し、格付け評価上の資本性を併せ持つ負債(3,000億円)について、格付機関の評価により75%を資本に参入

以下参考資料

主な財務関連データ

(見通し)

年度	'03	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14
【主要財務指標】(億円、%)									
経常利益	2,183	5,029	4,005	692	1,658	529	522	1,736	2,200
ROS 1	8.8%	14.2%	10.2%	2.4%	5.2%	1.7%	1.6%	4.7%	5.7%
ROE 2	15.9%	17.5%	13.7%	3.3%	4.1%	-2.6%	2.7%	6.3%	7.3%
ROA 3	6.5%	13.0%	10.0%	2.2%	4.6%	1.7%	1.6%	4.5%	5.4%
借入金・社債等 残高(年度末)	18,374	12,819	17,687	14,684	14,964	15,936	15,963	15,340	15,200
D/Eレシオ 4	246.2%	61.4%	98.9%	75.5%	76.5%	83.5%	76.9%	67.9%	61.5%
【1株当たり情報】(円/株、%)									
当期純利益	185.8	450.5	355.6	86.3	110.7	-68.7	71.2	177.4	225.3
配当金	30	120	90	20	35	20	20	40	(※) 60
配当性向	16.1%	26.6%	25.3%	23.2%	31.6%	-	28.1%	22.5%	26.6%

()中間20円
 期末40円(案)

※1 売上高経常利益率 ※2 当期純利益/期中平均自己資本 ※3 (経常利益+支払利息)/総資産

※4 借入金・社債等残高/自己資本 但し、格付け評価上の資本性を併せ持つ負債(3,000億円)について、格付機関の評価により75%を資本に参入

主な海外事業投資の状況①

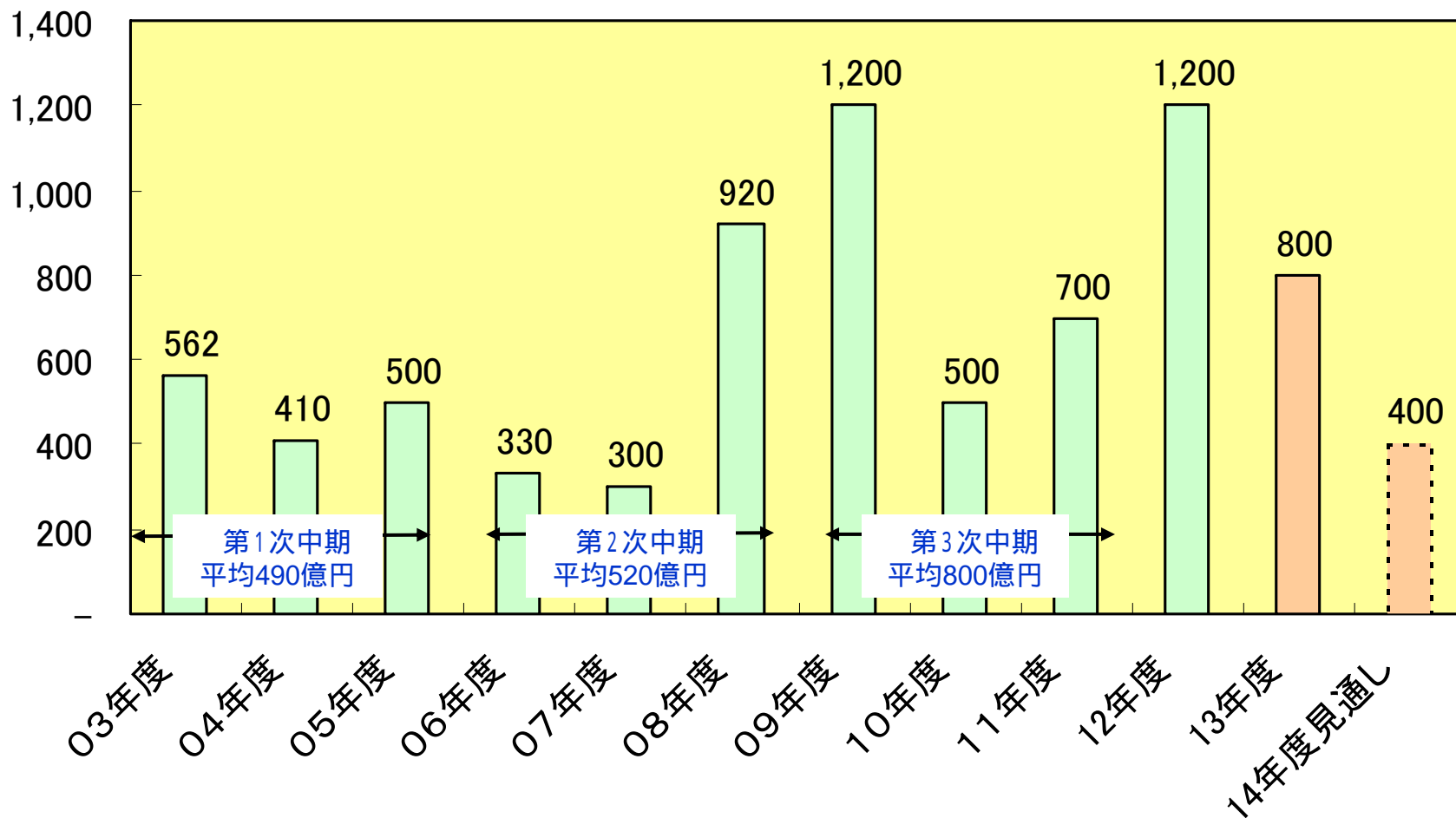
	会社名	所在国	出資比率	投資内容 (能力)	FY12	FY13	FY14
自動車	GJSS <small>スチール</small>	中国	50%	冷延(180万t/年) CAL(100万t/年) 第2CGL(40万t/年)	▲ 稼動 ⇒ 1期と合せCGL80万t体制化 ▲ 広州薄板(Bao子会社)に パートナー変更		
	JSGT <small>スチール</small>	タイ	100%	CGL(40万t/年)		▲ 稼動(タイ初の自動車用CGL)	
	JSGI <small>スチール</small>	インドネシア	100%	CGL(40万t/年)		▲ 投資決定 ⇒ 16年3月稼動予定 (インドネシア初の自動車用CGL)	
	JSW <small>スチール</small>	インド	15%	第2冷延(230万t/年) CAL(95万t/年×2) CGL(40万t/年)	冷延稼動 ▲ 第1CAL, CGL稼動 ▲		第2CAL稼動 ▲
	r. bourgeois JFE Shoji <small>商事</small>	米国	50%	モーターコア製造			▲ 合弁会社設立 ⇒ HEV・EV需要を補足
	TCR <small>スチール</small>	タイ	36%	冷延(100万t/年)	▲		株式一部買戻し ⇒ コールメジャー化
	JJP <small>スチール</small> (嘉興JFE精密鋼管)	中国	51%	自動車用鋼管 (約2千t/月)			▲ 会社設立 ⇒ 15年央稼動予定

主な海外事業投資の状況②

	会社名	所在国	出資比率	投資内容	FY12	FY13	FY14
エネルギー	CSI スチール	米国	50%	第2電縫管ミル (36万t/年)			▲ 稼動
	Benoit スチール	米国	15%	油井管加工	▲ 買収完了	エネルギー関連需要の 拡大を補足	
	Kelly Pipe 商事	米国	100%	鋼管問屋 (ラインパイプ、一般管、油井管等)			▲ 買収完了
容器	JFE金属容器 JFEコンテナ	中国	80%	ドラム缶製造工場 (14年暦年生産量: 約440万缶)	▲ 江蘇工場稼動	▲ 浙江第2工場稼動	
コイルセンター	JSI 商事	インド	100%	新設 (30千t/年)	▲ 稼動		
	JSHP 商事	ベトナム	100%	新設 (48千t/年)			▲ 稼動
	JSSI 商事	インドネシア	97%	第2工場 (61千t/年)			▲ 稼動
	SASC 商事	タイ	70%	2期投資 (200千t/年)		▲ 稼動 ⇒ 自動車用広幅鋼板対応	

コスト削減推移(鉄鋼事業)

(億円) コスト削減額推移(JFEスチール発足以降)

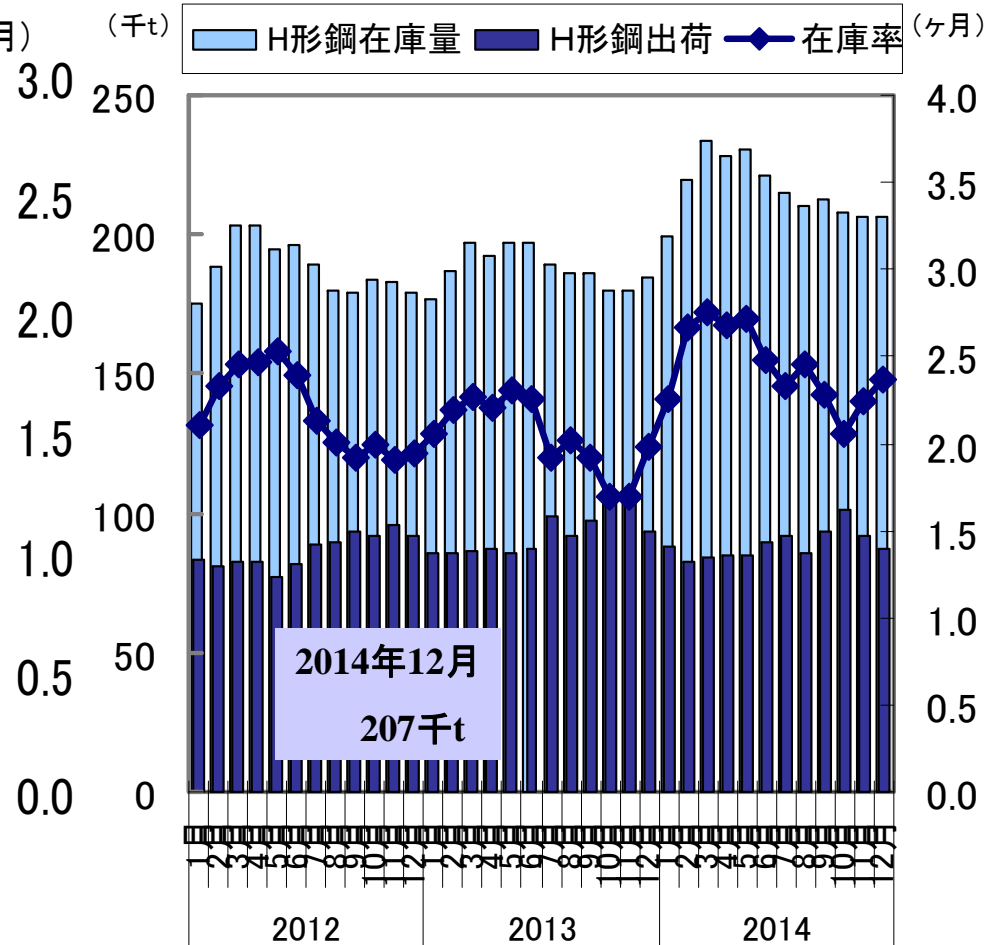
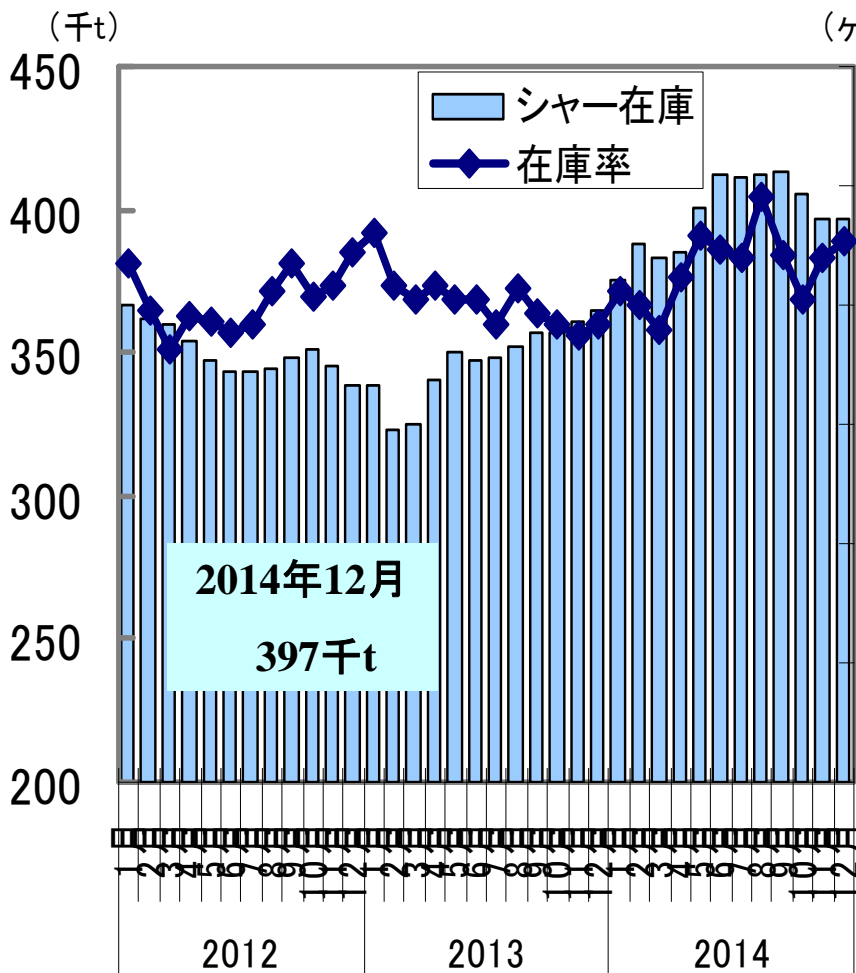


国内販売環境

厚板シャ-・H形鋼在庫

物件ズレ等の影響もありシャ-在庫は依然高位で推移していたものの、至近は在庫調整の進展もあり40万トンを切る水準。

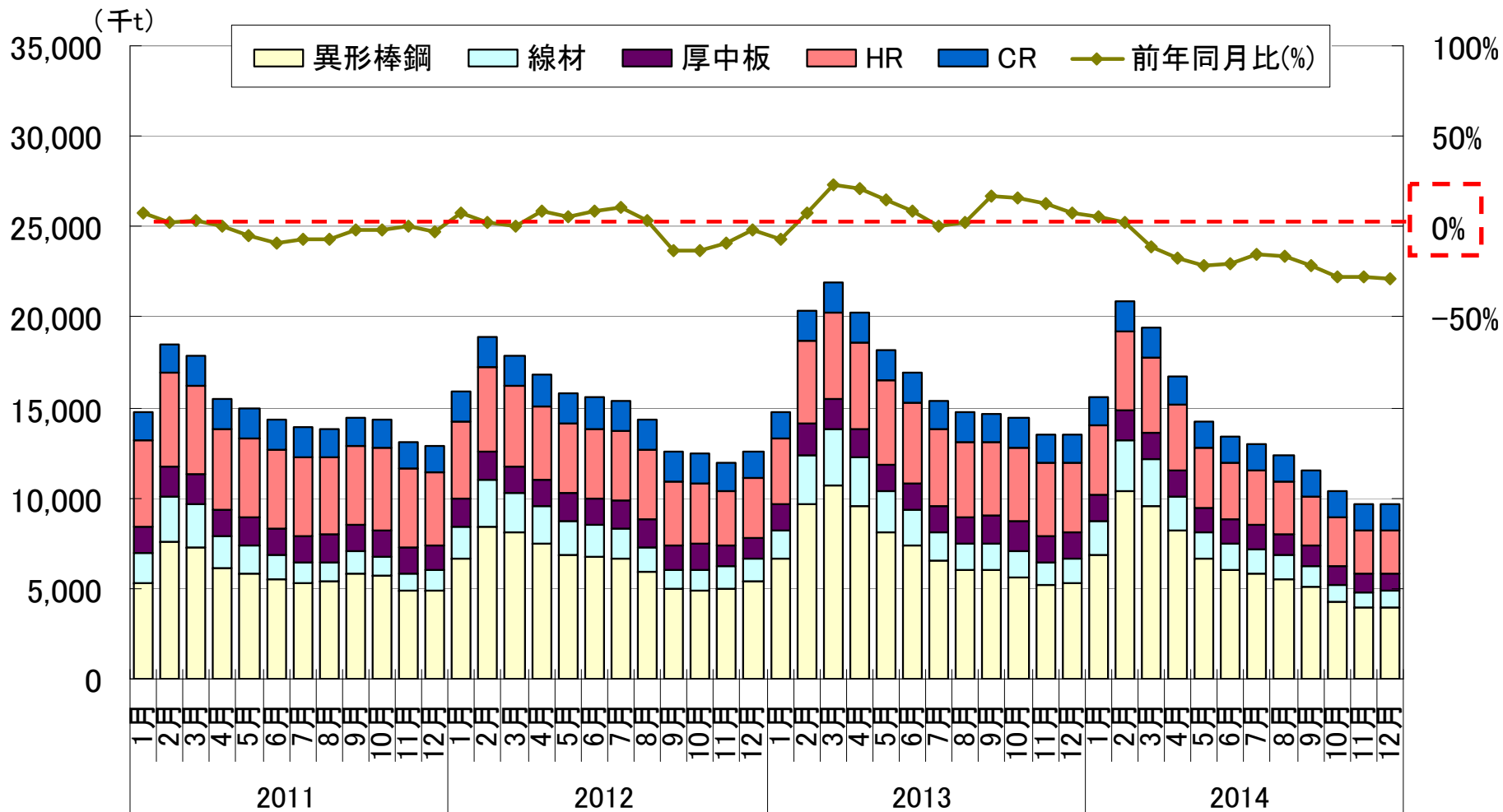
いち早く在庫調整を実施したこともあり、足下は適正水準を維持。



輸出販売環境

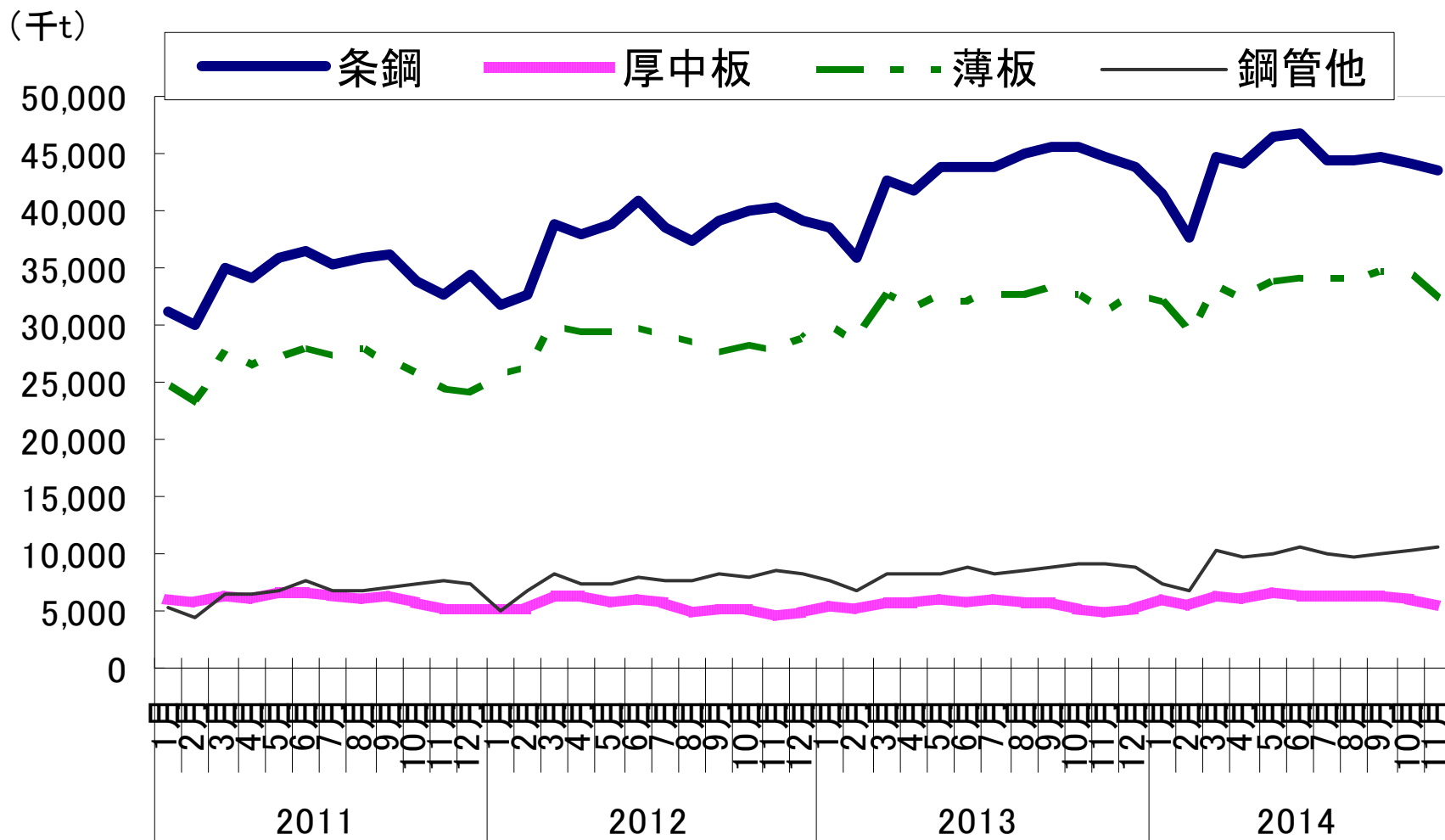
中国在庫

市中在庫は、金融引締めによる買控えの影響もあり減少傾向。
 ただし高いレベルの生産は続いており、在庫動向には今後も注意が必要。



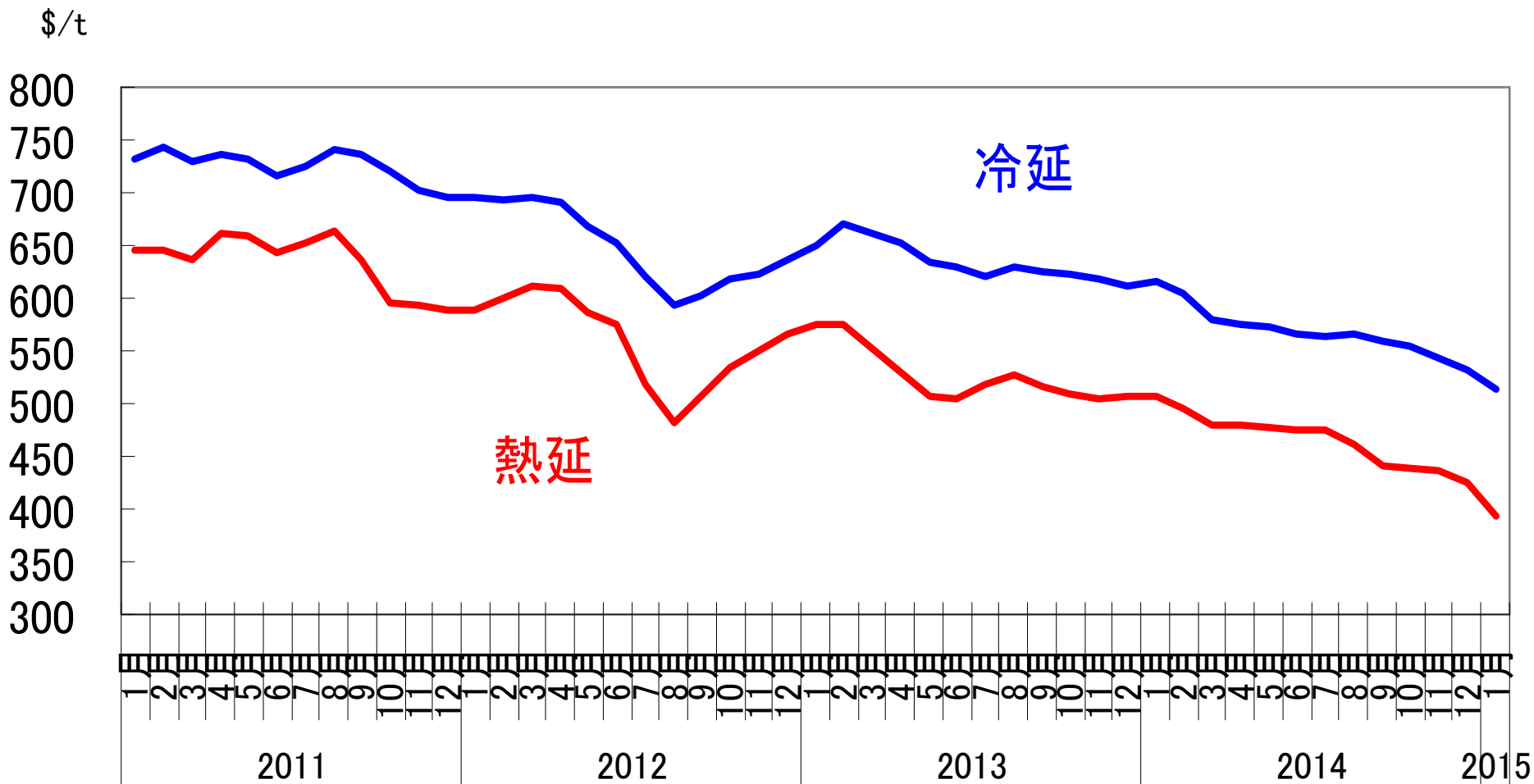
輸出販売環境

中国品種別鋼材生産



輸出販売環境

中国薄板価格



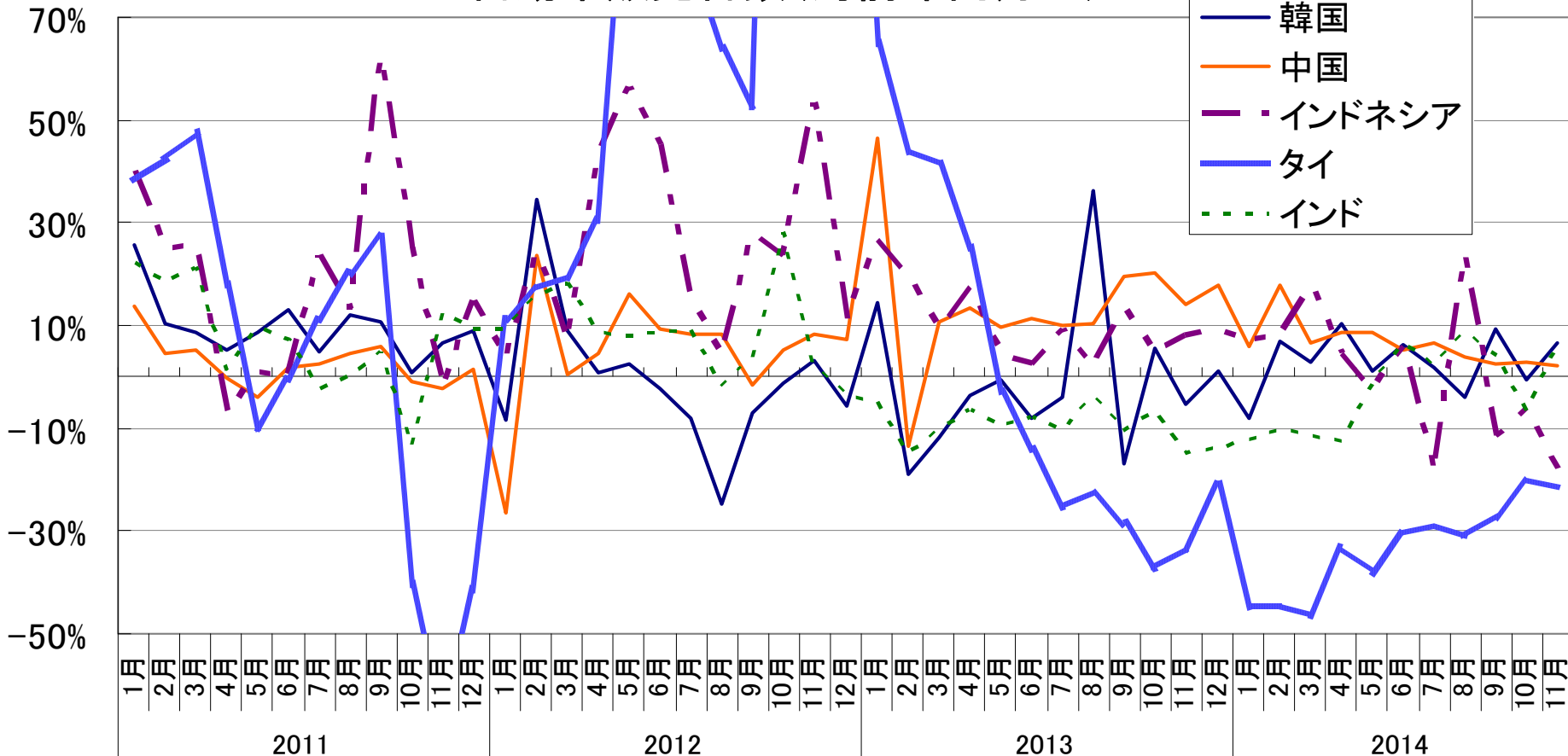
Notes: Figures does not include value-added tax. Prices are average from 21 regions of China.

輸出販売環境

主要国自動車販売

中国：伸び率がやや鈍化しているが、依然として前年比プラスを維持。
 タイ：優遇制度の反動減と政情不安の影響が続き、国内販売低迷は依然継続。
 インドネシア：燃料費補助の削減影響もあり足元は前年比マイナス。

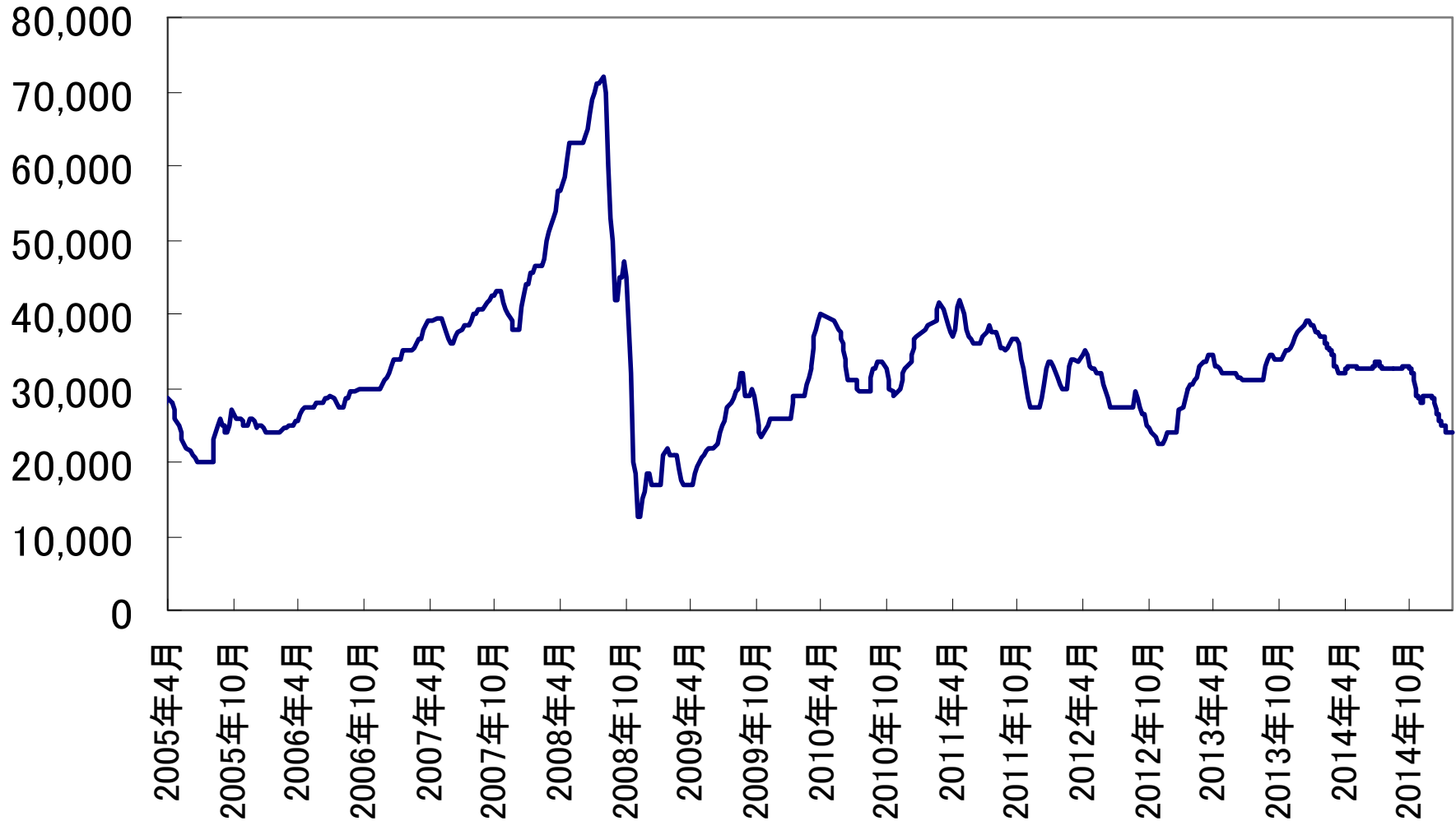
自動車販売台数(対前年同月比)





原料 スクラップ価格

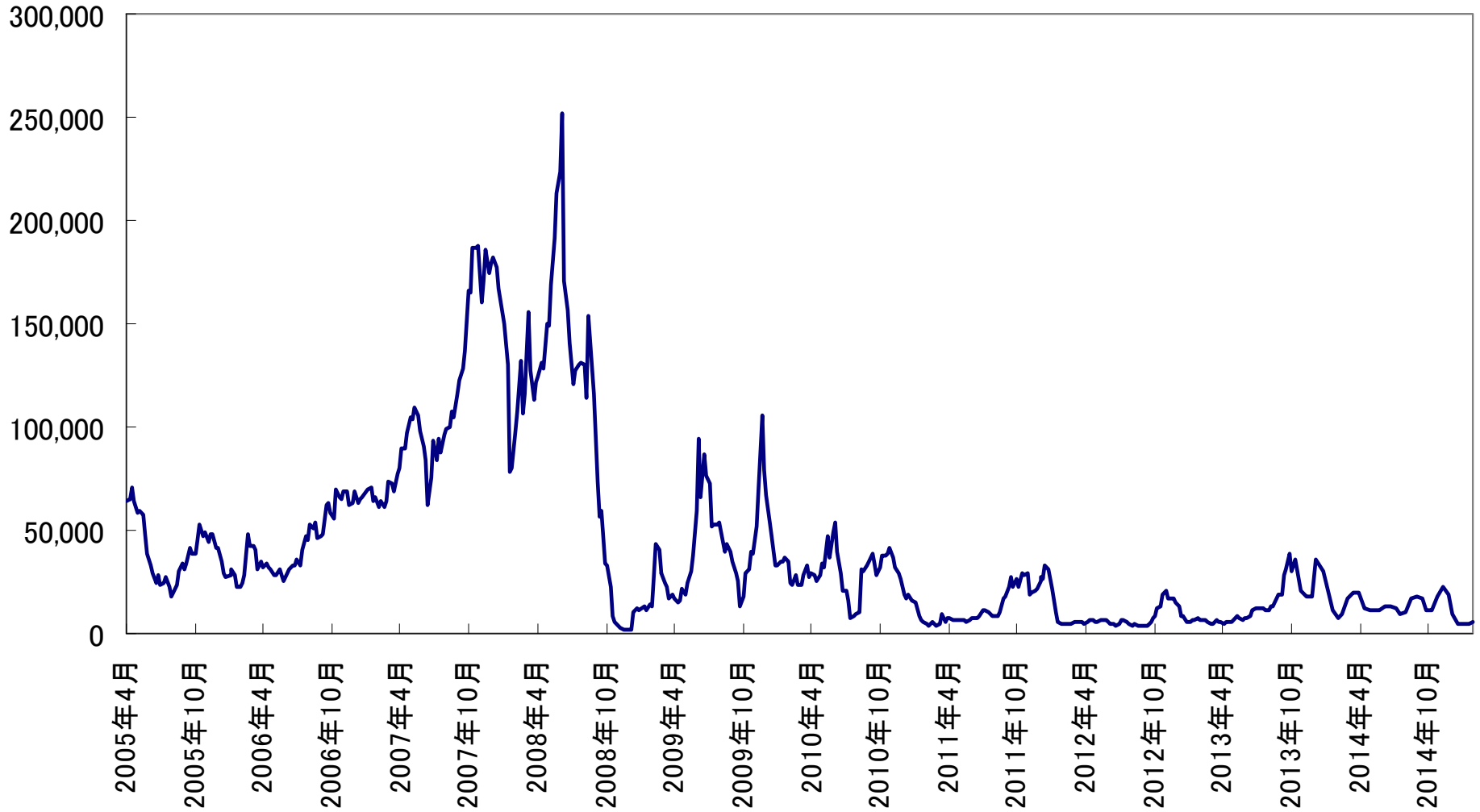
円/t



原料

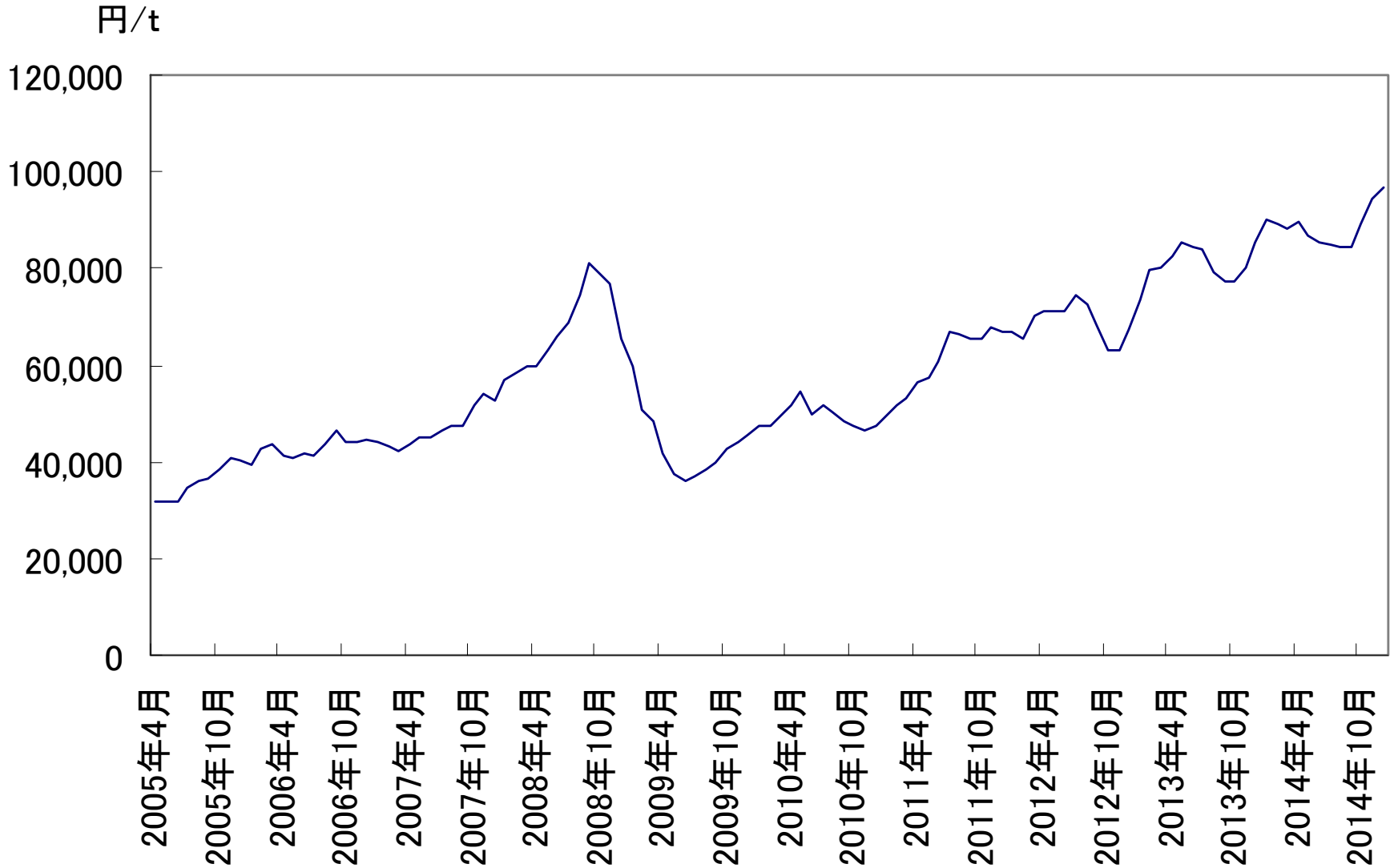
スポット傭船料

\$/日



原料

LNG市況

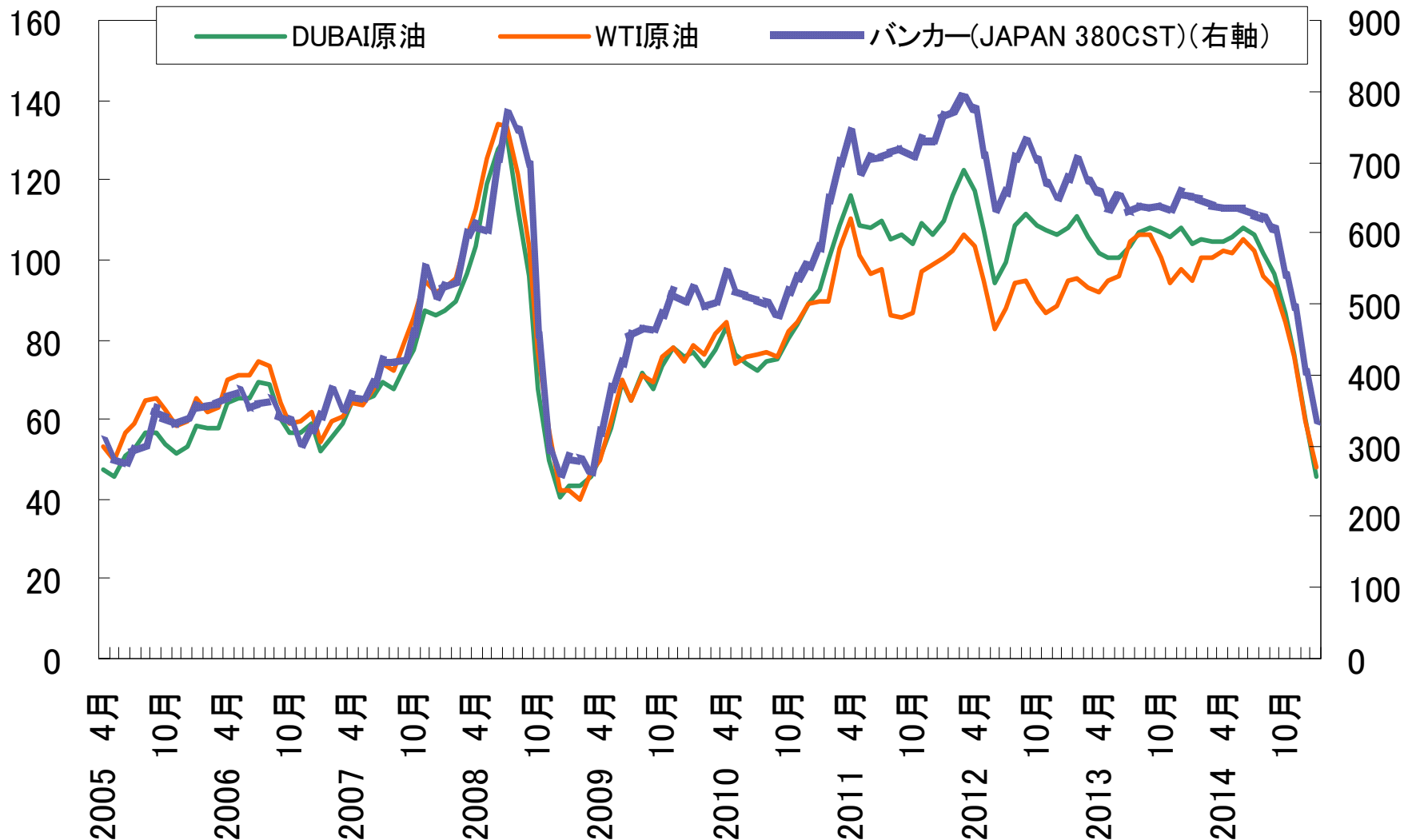


原料

原油・バンカー価格

(原油: \$/bbl)

(バンカー: \$/t)

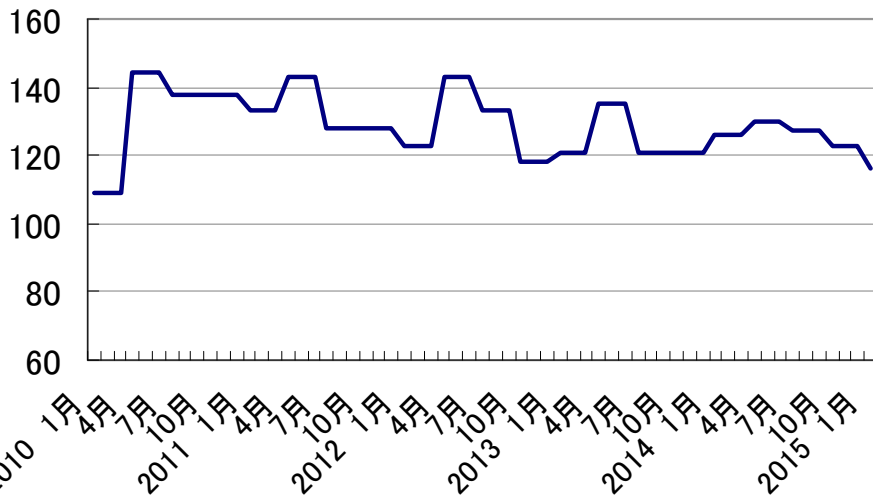


原料

金属類価格

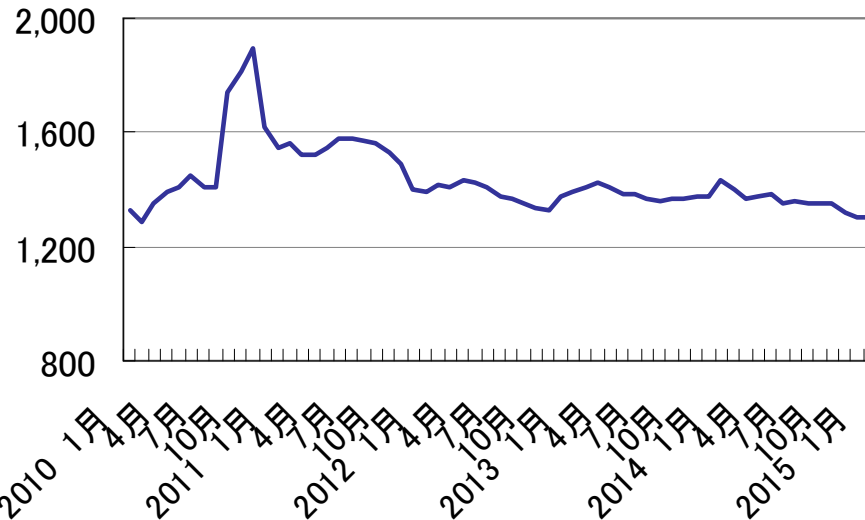
¢ / lb

フェロクロム



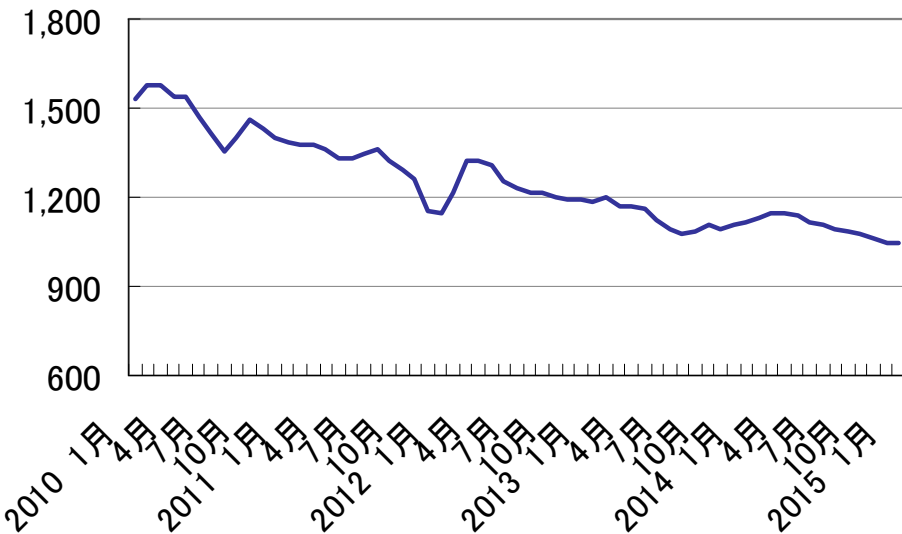
US\$/T

フェロシリコン



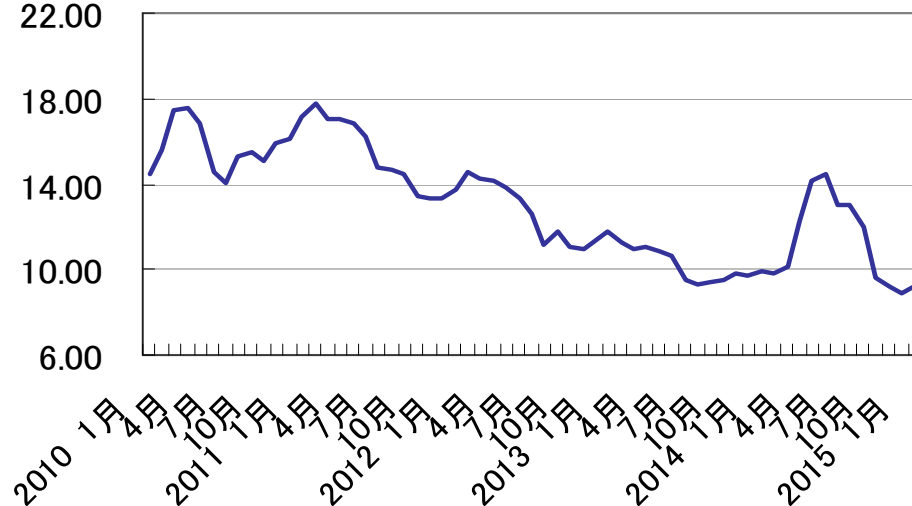
US\$/T

フェロマンガン



US\$/lb

モリブデン





以 上